

見えない人



見えにくい人



見える人



いっしょに生きていく



豊島区立豊成小学校



6年



長崎 大晴





「見えない人見えにくい人見える人いっしょに生きていく」  
というタイトル、表紙に込めた思い

今回の調べる学習を書き終えて、どのようなタイトルにするか考えました。

そのときに、国立民族学博物館の広瀬浩二郎さんが

「見えない／見える」と表すと対立になり、

「見えない・見える」と表すと並立になると記されていたことを思い出し、  
ぼくも表記にこだわりたいと思いました。

世の中には、「見えない人」と「見えにくい人」と「見える人」がいます。

この三者の間にバリア（障壁）があってはいけないので、

「、（読点）」をつけないことにしました。

そして、「いっしょに生きていく」ということに終わりはないので、

最後に「。（句点）」をつけないことにしました。

さらに、見えにくい人は小さい文字よりも大きい文字の方が見やすく、

白黒を反転させるとさらに見やすくなる場合があるので、

表紙は大きめの文字で、白黒を反転させることにしました。

また、ファイルの色は、「点字ブロック」の色であり、

「幸福」や「平和」の意味を持つ黄色にしました。

# 目次

章	内容	ページ
	はじめに、取り組み方	1、2
第1点	視覚障害 視覚障害	3・4
第2点	点字 点字 身の回りにある点字 点字の歴史 点字を作った人 (ルイ・ブライユ、石川倉次)	5 6・7 8 9・10
第3点	読書 日本点字図書館 目の見えない・見えにくい人の読書 点字図書館ができるまで 録音図書で内容を正しく伝えるために 手で見る学習絵本『テルミ』	11 12・13 14 15・16 17・18
第4点	偉人 江戸時代に活躍した視覚障がい者 (八橋検校、杉山和一、塙保己一) 奇跡の人 ヘレン・ケラー ヘレン・ケラーの家庭教師 サリバン先生	19~25 26 27

章	内容	ページ
第5点	盲導犬 盲導犬 盲導犬の里 富士ハーネス	28・29 30・31
第6点	バリアフリー バリアフリー パラアスリート講師から学ぶ「あすチャレ！」	32・33 34～37
第7点	対話 対話の森「ダイアログ・イン・ザ・ダーク」	38・39
第8点	発信 としま子ども会議	40～42
第9点	アート 『目の見えない白鳥さんとアートを見に行く』 「バリアフリー」から「ユニバーサル」へ ユニバーサル・ミュージアム 国立民族学博物館 サントリー美術館 国立西洋美術館	43 44 45 46 47 48
	まとめ、おわりに	49、50

\*資料

\*参考文献



はじめに

取り組み方

## はじめに

「目が見えない・見えにくいこと」について調べようと思ったきっかけは3つあります。

① 5年生の国語の教科書に「点字と手話」というページがあったことです。今まで点字を見かけたことはあったのですが、何と書いてあるのか、どうやって読むのかは分かりませんでした。そこで、教科書に打ってあった点字を触ってみたのですが、ぼくは点字を見ながら触っても全く読み取ることができませんでした。そのため、点字をどうやって読むのだろう、点字はどのように考え出されたのだろうと疑問に思い、くわしく調べたいと思いました。



② 祖父と旅行に行ったときに、初めて車いすを押したことです。祖父は以前から心臓が悪く、歩くときもゆっくりなので、旅行中はみんなでのんびり観光していました。しかし、最終日に訪れた「平城宮跡」(奈良県)はとても広く、歩いて回るのは難しそうでした。そこで、資料館の方が車いすを貸してくださいました。ぼくはそのとき初めて車いすを押したのですが、通路の幅や傾斜、押すスピードなど、やってみないと分からないことがあることに気がきました。そのため、障がいがあるとどのようなことが大変なのか、お手伝いするときはどうしたら良いのか、実際に体験したいと思いました。



③ 『目の見えない白鳥さんとアートを見に行く』という本を読んだことです。ぼくは普段から美術館や博物館によく行きますが、アートは目で見るものだと思っていたため、タイトルを見てとても驚きました。本を読んで、「目の見えない白鳥さん」がどうやってアートを見ているのか、いっしょに行く人はどのようなことをしているのかを知りました。そこで、生活を便利にするだけでなく、障がいのある人もない人も、みんながアートを楽しむ方法を考えていきたいと思いました。



©川内有緒

以上の3つの理由から、今回のテーマについて調べたいと思いました。



## 取り組み方

図書館で本を借りたり、インターネットで調べたりすると同時に、日本点字図書館などで開催されるワークショップに積極的に参加しました。専門家の方や障がいを持った当事者の方から直接お話をうかがって分かったことや、実際に自分で体験して感じたこともふまえてまとめるよう工夫しました。参加したワークショップは、次の通りです。

	年月日	ワークショップ(イベント)	場所
1	令4 10/ 8	耳で聞く読書	日本点字図書館
2	11/19	点字	日本点字図書館
3	12/ 3	視覚障害者の読書	日本点字図書館
4	令5 1/21	歩行	日本点字図書館
5	2/18	見えない・見えにくい人に役立つ便利グッズ	日本点字図書館
6	2/25	盲導犬・介助犬・聴導犬のユーザーによるトークイベント	東京都人権プラザ
7	3/11	おしえて!君の景色 手で見る学習絵本「テルミ」	東京都人権プラザ
8	3/21	バリアフリー能	横浜能楽堂
9	春休み	世界をさわる	国立民族学博物館
10	7/23	盲導犬ユーザーサポート体験 盲導犬ユーザー体験	盲導犬の里 富士ハーネス
11	8/ 5	夏休みキッズチャレンジ!	日本点字図書館
12	8/ 8	あすチャレ!バリアフリーの自由研究	日本財団パラアリーナ
13	8/11	ダイアログ・イン・ザ・ダーク	ダイアログ・ダイバーシティ ミュージアム「対話の森」
14	8/15	まるごといちにち こどもびじゅつかん	サントリー美術館
15	8/26	みんなでアートを楽しもう!おしゃべりOK! にぎやかサタデー	国立西洋美術館

また、今回は文字数が多くなるため、Word で作成することにしました。

字体は「UDデジタル教科書体」を使用しています。この字体は、ロービジョン(弱視)、ディスレクシア(読み書き障がい)に配慮したユニバーサルデザイン(障がいの有無等にかかわらず、できるだけ多くの人々が利用できる設計)の書体です。

# 第1点

## 視覚障害





## 視覚障害

ぼくたちは普段、五感を使って物事の状態を認識しています。特に視覚から得られる情報は多いです。「目を配る」「目を奪う」など、慣用句やことわざにも「目」や「見ること」に関する言葉がたくさん使われています。

五官	目	耳	鼻	舌	皮膚
五感	視覚	聴覚	嗅覚	味覚	触覚

### 「見える」とは？

- ・目の前にあるものが何かを見ただけで分かること。
- ・目の前のものがどこにあり、自分との関係が分かること。
- ・視線を動かすことができること。

} 3つの要素

<「見える」ということを表すもの>

- ・視力・・・もの(物体)がどれくらいはつきり見えるか数字に表したものの。
- ・視野・・・目を動かさずに一目で見える範囲のこと。(人間の両目で180~200度)
- ・色覚・・・色が分かること。

(光の波長の違いによって色を認識。人間は赤・緑・青の3つの色の認識。)

### 「視覚障害」とは？

視力の低下により、視覚情報を全く得られない、またはほとんど得られない状態のことです。大きく4つの種類に分けられます。

- ・視力障害・・・全く視力がなく明暗も分からない状態を「全盲」、少しの視力はあるが、日常生活に困難をきたす状態を「弱視」といいます。
- ・視野障害・・・見える範囲が狭くなったり、一部が欠けたりする状態。  
中央部分だけ視野が残る「求心性視野狭窄」、中心部のみ見えなくなる「中心暗転」、白くぼやける「白濁」などがあります。
- ・色覚障害・・・色の識別がしにくい状態です。先天性と後天性(白内障や緑内障)に分けられます。
- ・光覚障害・・・光を感じたときに、光の強さを自動的に調整し見えやすくする機能に異常をきたしている状態です。

# 第2点

## 点字





## 「見えにくい」状態＝「ロービジョン」

目が「見える」か「見えない」かだけではなく、「見えにくい」という状態もあります。

「見えにくい」状態のことを「ロービジョン」といいます。

ぼくは近視と乱視のため、授業中にメガネをかけていますが、メガネやコンタクトレンズを使って矯正しても、十分な視力を得られない場合は視覚障害となります。

※視覚障害者のうち、全盲は約10～20%、ロービジョンは80～90%といわれています。

## 視覚障害を体験

視覚障害のある方の見えにくい度合いは、人によって様々です。



東京都人権プラザや富士ハーネスでは、見えない・見えにくい状態を体験するメガネをかけて体験しました。日本点字図書館では「ロービジョン体験キット」をかけて体験しました。自宅でもキットを組み立てて体験してみました。

➡ 実際に体験してみると、見づらい!! 視野がちょっと欠けているだけでも、本を読むときに顔を動かして文字を追わなければならない、視界が少しぼやけているだけでも、何という文字が書いてあるか読み取れなくなりました。そこで、文字を大きくしたり、白黒を反転させたりすると、見やすくなることが分かりました。「日本点字委員会」のホームページなどでは、サイト上で文字の大きさを変えたり、色を反転させたりすることができます。

反転させるとこのようになります。→ **白黒反転**

## 「障害」、「障がい」、「障碍」どの字を使う？

3・4ページでは、専門用語として表すため「障害」と書きました。この後は、名称で使われている場合以外は、「障がい」と書きます。「害」という字は、「災害」「有害」「公害」のように悪いものに対して使われます。そのため、「障害」のあることが悪いことのように誤解されてしまう恐れがあるからです。「障碍」と書くこともありますが、多くの人が読みやすいように「障がい」と表したいと思います。



# 点字

## 「点字」とは？

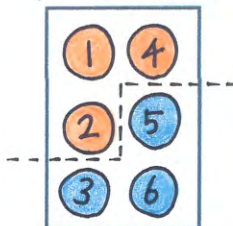
視覚障がい者が、指で触って読んだり書いたりする文字。  
縦3点、横2点の6つの点の組み合わせでできています。

### <点字のルール>

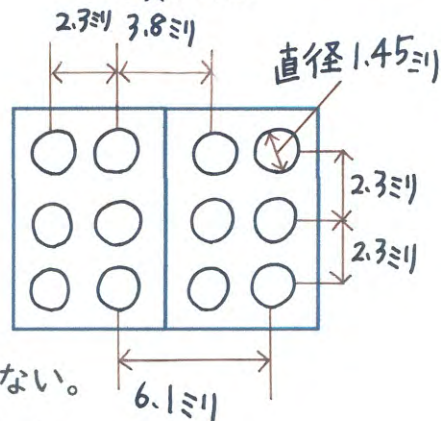
- ・点字は6つの点でできていて、それぞれ番号が付いている。
  - ・横書きで、読むときは左から右へ、上の行から下の行へ読む。
  - ・発音通りに書く。(例:小学校→しょーがっこー)
  - ・「分かち書き」(意味のまとまりで区切って1マス空ける)をする。
- ※縦書きをしない。

※点の大きさや点の間隔が一定(JIS規格)のため、拡大・縮小しない。  
(点字は触読文字で、6つの点しょくどくが全部指先に入るようにするため。)

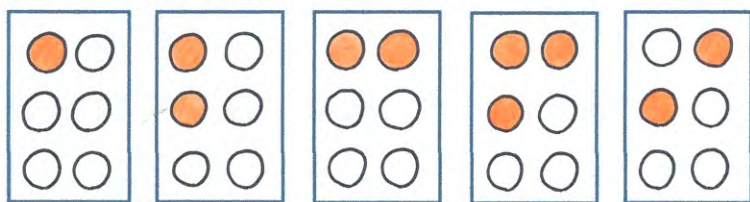
### 母音を表す3点



### 子音を表す3点

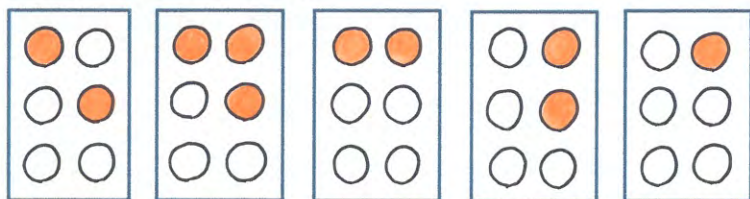


### 点字を読んでみよう!



左から「あいうえお」の順です。  
「あいうえお」(母音)は、  
1・2・4の点だけを使います。

### 点字を書いてみよう!



右から「あいうえお」の順です。  
点字を書くときは、読むときと逆。  
書くときは、右から左に書きます。  
点字は裏側から打つからです。



点字器を使って、  
実際に点字を書いて  
みました。資料①  
ぼくはマイ点字器を  
2つ持っています!



# 身の回りにある点字

ぼくが1番最初に点字の存在に気付いたのは、豊島区立中央図書館があるビルのエレベーターに乗ったときです。小さいころから図書館によく行っていたのですが、年長さんのときに、行先ボタンのとなりに点々の付いたシールが貼ってあることに気付きました。いっしょにいた母に点字だと教えてもらってからは、駅の券売機や階段の手すり、電車のドアなど、いろいろなところで点字を見つけることができました。今回は、家の中にあるもので、点字の付いているものを探し、何と書いてあるのか調べてみました。



まるごと果実 いちご  
(ジャム) [アヲハタ]

前: **じゃむ**

後ろ: **あをはた**



深煎りごまドレッシング  
[キューピー]

ふた上部: **どれ**



中濃ソース  
[ブルドックソース]

ふた上部: **そーす**



アサヒ生ビール黒生 [アサヒ]  
贅沢搾りプレミアム [アサヒ]

どちらも缶上部: **おさけ**

\*ジュースと区別できます。



「トマトケチャップ」 [カゴメ]

本体: **けちやっぷ**

\* 同じ調味料でも、形が似ている

マヨネーズには点字がありません。



ほんだし  
[味の素]

ふた上部:

**ほんだし**



ゆかり [三島食品]

上部と中央: **ゆかり**

\* 上部を切り取っても分かる

よう2カ所付いています。



ボンド木工用  
[コニシ]

中央: **ぼんど もっこーよー**



キッチンブリーチ  
[カネヨ石鹼]

本体上部:

**えんそひょーはくざい**

ぼくが一つ一つ調べていたら、「『おさけ』だとビールか果実酒かまでは分からないね。」と、母が言いました。確かに、もう少し商品の情報があった方が選びやすくなると思いました。



点字だけではなく、触って分かる工夫がされているものもありました。



メリットシャンプー〔花王〕  
\*側面に点々が浮き上がっている  
ので、同じ容器のリン  
スト、触って区別できます。



酪農3.6牛乳〔協同乳業〕  
\*紙パック飲料の中で、  
牛乳は開け口と反対側に  
丸い切り欠きがあります。



サランラップ〔旭化成〕  
\*箱の側面に「ラップ」  
を表す「W」の文字が  
浮き上がっています。



ロースハム  
〔プリマハム〕  
\*開け口が分かりや  
すく加工されています。



テレビのリモコン  
〔パナソニック〕  
\*電源ボタンに点  
が付いています。



洗濯機〔日立〕  
\*「スタート一時停止」  
ボタンに点が付いて  
います。



炊飯器〔象印〕  
\*「炊飯」は点、  
「保温」は横線の  
印が付いています。



電子レンジ〔東芝〕  
\*「スタート」は点、  
「とりけし」は横線の  
印が付いています。

シャンプーの容器の側面にある印は、目が見えない・見えにくい人はもちろん、ぼくたちがシャワーを浴びて目をつぶっているときでも、手で触って分かるデザインになっています。障がいのある人にとって使いやすい物は、ぼくたちにも使いやすい物になることがあります。このような誰もが分かりやすく使いやすいデザインを「ユニバーサルデザイン」といいます。

今回、身の回りにある物を調べてみて、いろいろな商品に点字が付いていたり、工夫がされてることが分かりました。すべての商品に付けられるわけではありませんが、そのような表示がもっと増えたら分かりやすくなると思いました。しかし、点字表示が増えたからといって買い物がすぐに便利になるわけではありません。お店ごとにレイアウトも違い、店内の商品をすべて触って選ぶのは、時間も手間もかかるからです。そのため、やはり周りの人のサポートが必要です。付き添いの人や店員さん、近くにいる人が一声かけることで、安心してスムーズに買い物ができるようになるのではないかと思います。



## 点字の歴史

年	出来事
1784年	フランスのバラントン・アウイが凸文字（浮き出し文字）の本を製作。 世界で初めて盲学校が作られ、手で触って読めるように、紙にアルファベットの形が浮き上がるように印刷した凸文字の本が授業で使われました。 ただし、凸文字が大きくて指先に入りきらない、読むのに時間がかかる、本が大量に作れない、自分では書けないという不便さがありました。
1821年	フランスのシャルル・バルビエが12点式点字を発案。 軍人だったバルビエは、戦場で夜間でも文字を読めるように、軍事目的で暗号用の記号（ソノグラフィ）を考え出しました。それをもとに、盲人用に改良した点字をパリの盲学校に紹介しました。
1825年	パリ王立盲学校の生徒ルイ・ブライユが6点式点字を考案。 12点式点字は指先に入りきらず、フランス語のつづりを正確に書くこともできませんでした。そこで、ブライユは6つの点を組み合わせて表す6点式点字を完成させました。
1854年	フランスで公式の文字として採用。次第に世界に広まっていく。
1887年	東京盲啞学校（現・筑波大学附属視覚特別支援学校）の教員・小西信八 <small>のぶはち</small> がローマ字で生徒に教えたのが我が国で最初。 明治時代初め、日本の盲学校ではまだ凸文字が使われていました。 教員・石川倉次 <small>くらじ</small> らに日本語への翻案 <small>ほんあん</small> を依頼。 ブライユの点字をもとに、日本語を表すのに適した点字の制作しようと、何度も選定会が開かれ、研究が重ねられました。
1890年	11月1日「選定会」にて石川倉治の案を採用することを決定。 現在、11月1日を「日本点字制定記念日」とし、石川倉次を「点字の父」とたたえています。
1898年	「きゃ・きゅ・きよ」などの拗音点字 <small>ようおん</small> を発表。
1901年	官報に「日本訓盲点字」として発表され、盲人用の文字として公認。
1926年	点字による投票が衆議院選挙で認められる。
現在	点字表記法の統一を図るため、日本点字委員会が1966年に組織され、点字表記の基準となる『日本点字表記法』をあらわしている。



## 点字を作った人

### ルイ・ブライユ ……6点式点字を作った



(画像:日本点字委員会HP)

1809年～1852年 フランス クーブレ生まれ  
3歳のときに右目をケガし、5歳のときに左目も悪くなり、完全に目が見えなくなりました。10歳で王立盲学院に入学し、浮き出し文字やソノグラフィーの欠点に気付きます。3年間試行錯誤を繰り返し、15歳のときに6点式点字を考え出しました。日本の点字も、ブライユの点字をもとにつくられました。現在、世界中でブライユの6点式点字が使われています。

#### ブライユの「6点点字」ができるまで

ブライユは王立盲学院で浮き出し文字の本に出会います。浮き出し文字は視覚障がい者用の文字で、紙の上に文字が浮き出ているため、指で触って読むことができました。しかし、文字を一字ずつなぞらなければならないため、読むのに時間がかかりました。

その後、フランスの軍人シャルル・バルビエがソノグラフィーを発明しました。夜間の戦場で、敵に気付かれずに「前進」「退却」などの命令を伝えるために作られました。ただ、戦場では複雑で使いにくかったため、目の見えない人に使ってもらおうと紹介しに来たのです。ブライユは12点では多すぎるので指先に入るようにしてほしい、発音ではなく文字のつづりを表せるようにしてほしいと改良をお願いしましたが、受け入れてもらえませんでした。そこで、ブライユはバルビエの点字を参考にして、3年間の試行錯誤の末、ついに6点点字を考え出したのです。

#### ブライユの「6点点字」が禁止された!?

ブライユの6点点字は非常に分かりやすく、生徒からも好評でした。しかし、盲学校の授業では使用を禁止されてしまいます。新しく校長となったピエール・デュフォーは「目の見える人と見えない人が、同じ文字を使うことが大切だ」と考えたからです。しかし、生徒たちは点字の良さを実感し、隠れて使い続けました。点字が正式にフランス政府に認められたのは、ブライユの死後2年経った1854年のことでした。

(後に、ブライユの誕生日である1月4日は「世界点字デー」となりました。)



## くらじ 石川倉次 ……日本の点字を作った「日本点字の父」



(写真:「日本点字図書館」HP)

安政6(1859)年1月26日~昭和19(1944)年

とおとうみのくに  
遠江国浜松(今の静岡県浜松市)生まれ

27歳のときに訓盲啞院くんもう あいんの先生になり、ブライユ点字をもとに日本独自の点字をつくるよう頼まれました。そこで8点点字を考えますが、世界共通で使えるよう6点点字を開発します。倉次の点字が日本の点字として採用された後も、改良や普及活動を行いました。倉次は晴眼者でしたが、目の見えない人の教育に一生を捧げました。

### 初めに考えた「8点点字」

当時の日本のかな文字は48字だったのですが、6点点字の組み合わせは44通りなので4つ足りません。そこで、倉次は点の数を8つにして8点点字を考えました。8点点字の組み合わせは255通りあり、完成した点字を生徒に使ってもらったところ好評でした。

しかし、小西信八のぶはちは6点で点字を作るように頼みました。なぜなら、世界で8点点字を使っている国はなく、欧米の国々はアルファベットを使うため、ブライユの6点点字を採用していたからです。点字盤など共通して使われている道具も使えなくなると、日本は世界から孤立してしまいます。そのため、6点点字の開発に取り組むことになりました。

### 日本の「6点点字」ができるまで

当時、東京盲啞学校もうあでは、他の教師や生徒も点字の研究を進めていました。倉次は、ルイ・ブライユの点字配列を参考に、「あいうえお」の母音の形を決め、さらに「かさたな…」の子音を付け加える形で、覚えやすい配列にしました。そして、1890年ついに6点点字の基礎を完成させました。その後、4回の会議を経て、「点の並びが規則的で覚えやすい」「似通った点字が少ない」ことなどが評価され、11月1日に倉次の点字案が日本の点字として正式に採用されることになったのです。

(後に、11月1日は「日本点字制定記念日」となりました。)

フランスはブライユの点字、日本は倉次の点字…ということは、他の国にも点字があるのかもしれないと思って調べてみました。英語、ドイツ語、中国語など、いろいろな点字があることが分かりました。ただし、6つの点を使っているのは世界共通です!!



# 第3点

# 読書





# 日本点字図書館

点字図書館は、身体障害者福祉法に基づいて作られた施設で、目の見えない・見えにくい人に、点字図書や録音図書などの貸し出しをしたり、情報を提供したりしています。都道府県に必ず1カ所以上あり、日本で一番大きな点字図書館が「日本点字図書館」です。

点字図書館の創立者：<sup>かずお</sup>本間一夫

大正4(1915)年10月7日～平成15(2003)年8月1日

<sup>ましけ</sup>北海道増毛町出身

5歳のとき脳膜炎にかかり視力を失います。13歳で<sup>はこだてもう あいん</sup>函館盲啞院に入学し、点字と出会い、ロンドンに世界一の点字図書館があることを知ります。昭和15(1940)年に「日本盲人図書館」を設立し、点字図書館の発展に貢献しました。

(写真:「日本点字図書館」HP)

(「日本盲人図書館」は初め豊島区雑司が谷にあり、その後新宿区高田馬場に移転。)



たくさんの鎖が印象的です

日本点字図書館の建物には、たくさんの鎖が下がっています。この鎖のように、図書館が視覚障がい者の「指と耳に注ぐ知の滝」のような存在になることを表しているそうです。

Q① 図書館の本の数は? (2023年3月31日現在)

A 点字図書:23179タイトル(84946冊)、録音図書:25587タイトル(50527巻)

Q② 図書館の貸し出し数は? (2022年4月1日～2023年3月31日実績)

A 点字図書:5258タイトル、録音図書:82530タイトル

Q③ 点字図書や録音図書を借りるのに、送料はかかる?

A 郵便局の取り決めで、郵送料はかかりません。

Q④ 図書の貸し出し以外に何をしています?

A 図書の作成、訓練(点字・歩行の練習など)、用具ショップ、ふれる博物館など、目の不自由な人たちの生活に関する、いろいろな事業を行っています。



## 目の見えない・見えにくい人の読書

ぼくは、日本点字図書館で開催されたワークショップに計6回参加しました。視覚障がいに関するいろいろなテーマのワークショップがありましたが、ぼくは本を読むことが好きなので、目の見えない・見えにくい人の読書について特に関心を持ちました。

### 目の見えない・見えにくい人は、どうやって本を読む？

目の見えない・見えにくい人も読書ができるよう、いろいろな工夫がされている図書があります。主に次の3つがあります。

#### ① 触って楽しめる絵本や本

絵本に、点字やもり上がっている絵がついている絵本です。もり上がっている絵は、透明な樹脂インクでもり上げて印刷してあるのですが、よく見てみると、実際の絵とずれているところがあります。これは、さわったときにどんな絵なのか分かりやすいように、あえてずらして作られています。『ぐりとぐら』（作：なかがわりえこ／絵：おおむらゆりこ／福音館書店）や『しろくまちゃんのほっとけーき』（作：わかやまけん／こぐま社）など、目が見える人も見えない・見えにくい人もみんながいっしょに楽しめるように作られています。

絵本の他にも、学習に役立つ知識の本なども作られています。例えば、『いろんなかたちをさわってみよう <sup>きかがく</sup>幾何学立体教材』（監修：高村明良／日本点字図書館）は、立方体や三角すいなどの図形が、飛び出す絵本のように立体的に立ち上がり、図形の形を触って覚えることができます。また、『ふれる世界の名画集』（監修：大内進・半田こづえ／立体絵画制作：柳澤飛鳥／解説テキスト：真下弥生／日本点字図書館）は、「モナリザ」などの絵画が、浮き彫りのように半立体化されていて、どのような絵なのかを触って知ることができます。さらに、点字で作られた地図もあり、触って分かるようになっています。



ぼくのオススメは  
『テルミ』!! 点字が  
読めなくても大丈夫。  
迷路・くじが楽しい!!



## ② 点字図書

<sup>すみじ</sup>墨字の本の文章を点訳(点字に訳すこと)して、点字で書いてある本です。点字のほとんどは、ボランティアの方によって点訳されたものだそうです。

例えば、『ハリー・ポッターと賢者の石』(作:J.K.ローリング/絵:ダン・シュレシンジャー/約:松岡佑子/静山社)の場合、本1冊が、点字図書6冊分に収められています。



↑ 点字図書6冊・録音図書1枚・本1冊

日本点字図書館の書庫も見学しました。

## ③ 録音図書

ボランティアの方が墨字の本を朗読し、その音声を録音したもので、聞いて楽しめます。障がい者のために特別な規格で作られたデイジー図書と呼ばれるものが中心です。デイジー図書は、CD1枚に最大60時間録音でき、目次から読みたいページに移動する便利な機能もあります。(視覚障がい者のためのインターネット点字図書館からダウンロードすることもできます。)

(写真:「もっと知ろう! 点字 点字の読み方から、歴史、最新技術まで」日本点字図書館)

<目の見えにくい人向け>

- ・拡大図書・・・普通の図書の文字や図を拡大し、見やすくした本。
- ・音声・拡大読書器・・・本や新聞、白い紙に打たれた点字などを読み上げてくれる機械。  
パソコンにつなぐと、画面に文字を大きく表示することもできます。
- ・電子書籍リーダー・・・電子書籍は、文字を大きくしたり、画面の明るさを変えたりすることができます。読み上げ機能が付いているものもあります。



視覚障がいのある方に向けて、いろいろな図書があることが分かりました。障がいの有無にかかわらず楽しめる本があることも分かりました。



## 点字図書ができるまで

### ① 本を選び、ボランティアの方に点訳を依頼する。

たくさんの本の候補の中から、どの本を点字図書にするか決めます。利用者さんからのリクエストに応えることもあります。本をボランティアに渡し、点訳をお願いします。

### ② パソコンで点訳する。

ボランティアは、点訳ソフトを入れたパソコンで点訳します。点字の1~6の点を6つのキーに割り当て、打ちたい点字のキーを同時に押すと入力できる仕組みになっています。

### ③ 読み方を調べながら入力していく。

すべてかなで入力するため、漢字の読み方を国語辞典や事典で調べます。分からないものがあったら、インターネットで調べたり、問い合わせたりします。

### ④ チェックする。

入力に間違いがないか、本と照らし合わせながらチェックします。入力ソフトにある音声読み上げ機能を使って、確認することもあります。

### ⑤ 読み合わせ校正をする。

ボランティアから送られた点訳データを、点字プリンターで紙に打ち出します。原本を読む人と、点字を読む人の2人1組で校正します。間違いは校正表に書き出しておきます。

### ⑥ データを修正後、再度校正する。

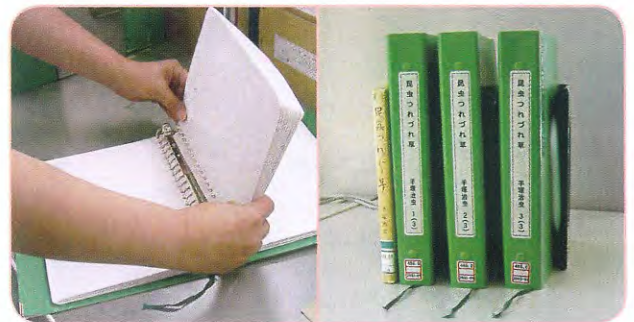
校正表に従って、点訳データを修正します。修正したものを、校正した人とは別の人が確認し、間違いがないよう校正していきます。

### ⑦ プリントし、切り離す。

完成した点訳データを、点字プリンターで打ち出します。ページがつながった状態で出てくるので、専用のカッターで1枚ずつ切り離していきます。

### ⑧ 製本し、背文字を貼る。

ページをそろえ、バインダーにはさみ、製本します。バインダーの背に、書名、著者名などを、墨字と点字で記したラベルを貼って、できあがり!!



(写真:「もっと知ろう! 点字 点字の読み方から、歴史、最新技術まで」日本点字図書館)



## 録音図書で内容を正しく伝えるために

録音図書は、活字の本を書かれている通りに、音声だけで内容が伝わるように読み上げています。録音した後、デイジーという形式に編集します。

### デイジー (DAISY) とは？

Digital Accessible Information System の略で、視覚障害などで活字の読みが困難な人のために製作されるデジタル図書の国際標準規格です。

デイジー形式に編集されていることで、利用者は自分の聞きたいところへ自由に移動し、素早く情報を得ることができます。

- ・音声デイジー・・・朗読ボランティアが読んだ図書をデイジー形式に編集したもの。
- ・シネマ・デイジー・・・映画音声の中に、音として伝わってこない人物や風景の様子を解説する副音声を入れて、デイジー形式に編集したもの。
- ・テレビ・デイジー・・・NHKの解説付き放送番組をデイジー形式に編集したもの。
- ・テキストデイジー・・・テキストデータと画像をデイジー形式に編集したもの。音声はありません。弱視の人は、パソコンやタブレットにテキストデイジー図書を表示させ、見やすい文字の大きさや背景の色にして、読むことができます。
- ・マルチメディアデイジー・・・音声、テキストデータ、画像を同期させ、デイジー形式に編集したもの。パソコンやタブレットに表示させると、読み上げている部分がハイライトされるので、学習障がいの人たちの読書や学習に役立ちます。  
(マルチメディアデイジー教科書は、全国で1万人以上の生徒たちに使われています。)

**問題** 内容を正しく伝えるためには、どこで区切って読む？ **資料②**で答え合わせ

- ・大きなメガネをかけた男の人がいます。(メガネが大きいときは?)
- ・きれいな髪の毛の長い女の人がいます。(髪の毛がキレイと言いたいときは?)
- ・大声で「おはよう」という男の子に「おはよう」と返した。  
(大声を出したのは男の子のときは?)
- ・わたしの背の高さぐらいのリンゴがたくさんなっている木がある。  
(リンゴの木とわたしの背の高さが同じときは?)
- ・エリカはイギリス生まれで同級生のミナミと仲がいい。  
(「イギリス生まれ」はミナミのときは?)

➡ただ読めばいいのではなく、聞く人に伝わりやすいように読む必要があるのです。



本といってもいろいろなジャンルの本があり、写真や絵、図表などの説明が必要な場合もあります。実際に言葉で説明しようとする、とても難しいです。

### 例：夏目漱石の写真

マル  
×「夏目漱石の1番有名な写真です。ソファに斜めに腰かけ、背もたれにひじをつけています。グレーのスーツ姿です。」

→1番有名かどうかは分からない。

座っているいすがソファかは分からない。

白黒写真なので、グレーの色かは分からない。

<注意> 確定でないものは、断定しない。

はっきりしないことは、決めつけて言わない。

「~のような」は良い。

マル  
○「夏目漱石の上半身が写っている写真です。

いすが斜めに腰かけ、背もたれにひじをつけています。スーツ姿です。」

### 例：フランスの国旗

マル  
○「フランスの国旗です。旗は横長の長方形です。

縦に3等分されています。向かって左から青・白・赤です。」



(写真:「新宿区立漱石山房記念館」HP)



(画像:「外務省」HP)



↑母とぼく



↑ぼくと母

スタジオの見学。  
録音・やり直しなど、  
自分で操作しながら  
進めていきます。

(写真:「日本点字図書館」HP)

点字図書・録音図書は、自動で機械的にできるわけではありません。図書館のスタッフの方や多くのボランティアの方によって、手間も時間もかけて作られていることが分かりました。その本がたくさんの利用者の方に喜ばれていることも分かりました。利用している方にお話を聞いたところ、子どものころに夜布団に入ってから夢中で点字の本を読んでいた、大人になった今でも本を読むのが好きだと話してくださいました。

(最寄り駅から日本点字図書館までのアクセスマップ **資料③**)



## 手で見る学習絵本『テルミ』

日本点字図書館のワークショップで、『テルミ』という絵本を初めて知りました。日本児童教育振興財団のサイトの中に『テルミ』を紹介するページがあり、次のように記されています。

『テルミ』は手で触って、読んで、楽しく学べる、  
世界で唯一の触察学習絵本です。



こちらに書いてある通り、『テルミ』は「視覚障害児のための世界唯一」の絵本であり、「弱視や眼の見える友だちもいっしょに楽しめるよう、点字と活字（墨字）を併用した画期的な雑誌」でもあるのです。

ぼくはワークショップのときに、目をつぶって『テルミ』を手で触って読んでみました。特に迷路がおもしろくて、ゴールにたどり着いたときは達成感がありました。点字だけの本を読むのは難しいですが、『テルミ』は誰でもすぐに楽しめます。ぼくは、『テルミ』についてもっと知りたいと思いました。

『テルミ』の編集長 スギヤマカナヨさんに、会ってお話を聞きました!!

『テルミ』の読者である小学生といっしょに、『テルミ』を楽しみました!!

令和5(2023)年3月11日に、東京都人権プラザで「おしえて!君の景色 手で見る学習絵本『テルミ』」というイベントがありました。この日は、『テルミ』の編集長であるスギヤマカナヨさんや、『テルミ』の編集に関わっている方から、貴重な製作秘話も直接聞くことができました。また、視覚に障がいがあり、普段から『テルミ』を読んでいる小学生といっしょに、『テルミ』の触図や点字の迷路などを触って楽しみました。

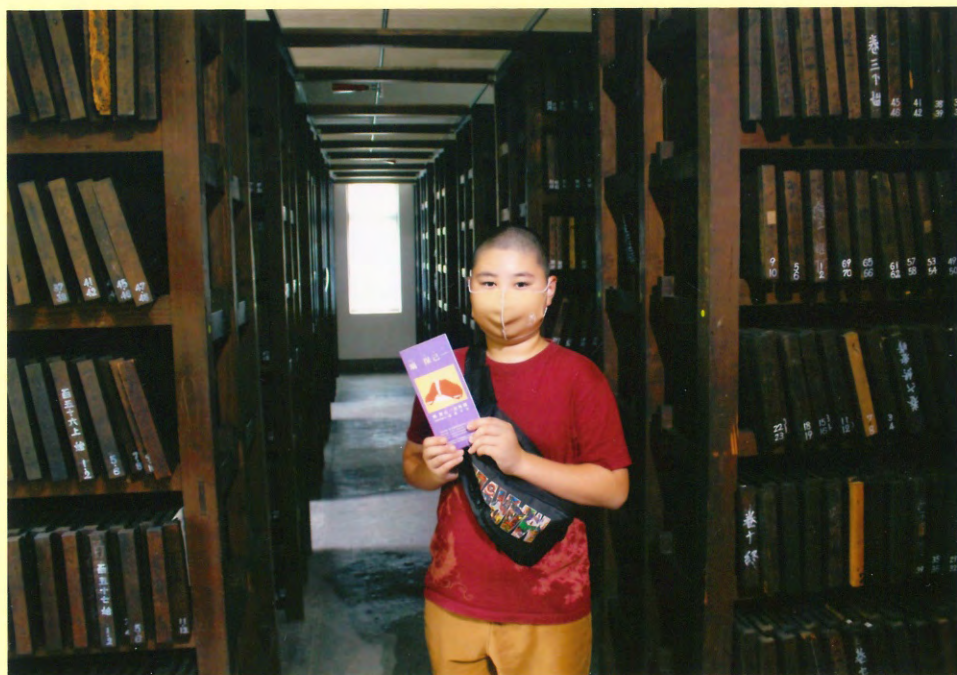
今回は、アイマスクをつけて『テルミ』を手で触って読んでみました。片手では形をつかみづらくて両手を使って触っていると、「触り方が上手だね!」と褒められました。触っているうちにだんだん慣れてきて、物の形が分かるようになってきました。

ぼくたちが普段読書するときは、本を持ったりページをめくったりするときにしか本を触りません。しかし、『テルミ』は表紙から両手でいっぱい触ります。すみずみまで触って楽しみながら、いくつもの発見がありました。



# 第4点

# 偉人





## 発見① SDGsのマークを紹介している!

『テルミ』を読んでいたら、SDGsの17の目標について、それぞれの内容とマークを紹介するページがありました。ぼくたちはSDGsのマークは見れば分かるものなので、一つ一つのマークにどのようなものが描かれているのか説明する機会も、説明される機会もなかったもので、とても新鮮に感じました。

例



家やビルなどが  
4つ並んだマーク。



矢印が無限を  
意味する形に  
なっているマーク。

## 発見② 「流しびな」を、『テルミ』と実物で比べてみる!

『テルミ』243号に、ひなまつりの原点といわれている「流しびな」について紹介するページがありました。スギヤマカナヨさんが、鳥取県で作られた実物の「流しびな」を持ってきてくださり、『テルミ』の流しびなと実物の流しびなを比べてみました。同じように感じるか、何か違いはあるかなど、比べて感じたことを話し合いました。視覚の障がいの有無にかかわらず、言葉で説明されるよりも絵の方が分かりやすく、絵よりも実物の方が触って感じる事ができて分かりやすい、ということを実感しました。

言葉

絵

実物

わらで編んだ舟の上に  
紙の人形を乗せます。  
人形の頭は紙粘土で、  
体は紙で作ります。  
舟の中央に人形を  
おさえる竹があります。



## 発見③ 「作って食べよう」のページがある!

視覚に障がいのある人はあまり料理をしないのではないかと思っていたのですが、ぼくの思い込みでした。料理のコーナーは毎号とても人気があるそうです。『テルミ』243号には、「チョコレートの原料 カカオ」について学べるページと「チョコポテト」の作り方のページがありました。スギヤマカナヨさんからフェアトレードのチョコレートをいただき、自宅に帰ってからチョコポテトを作ってみました。簡単にできてとてもおいしかったです。



## 江戸時代に活躍した視覚障がい者

江戸時代に活躍した視覚障がい者はたくさんいます。その中でも、特に有名な「八橋検校」、「杉山和一」、「塙保己一」の3人について調べました。

### ① やつはしけんぎょう … 箏曲家 (箏の演奏家)



けいちょう じょうきょう  
慶長19(1614)年～貞享2(1685)年

いわき  
磐城(今の福島県いわき市)出身

幼い頃から目が不自由で、大坂(今の大阪)で三味線の演奏家として活動した後、江戸で箏を学びました。

ろくだん しらべ だんもの  
「六段の調」をはじめとする「段物」などを作曲した他、  
ひらちょうし  
「平調子」を確立し、箏曲の基礎を築きました。

(画像:「聖護院ハツ橋総本店」HP)

おんし かんえいじ けいだい  
上野恩賜公園にある寛永寺の弁天堂の境内には、  
けんしょうひ  
八橋検校顕彰碑があり、そばに箏、六段塚の石碑も  
あります。弁天堂には、弁財天という神様(七福神の  
まつ  
一人)がお祀りされています。琵琶を持っていて、  
芸能の神様ともいわれています。



めいか  
京都銘菓「ハツ橋」の名前の由来を知っていますか？

京都のお土産で有名な「ハツ橋」というお菓子がありますが、実は「八橋検校」が由来だという説があります。

八橋検校は亡くなった後、京都の常光院(通称「八は  
てら  
し寺」。八橋検校の菩提寺。)に葬られましたが、お墓参りに訪れる人が絶えませんでした。そこで、八橋検校の業績をしのいで、箏の形をかたどったお菓子を「ハツ橋」と名付けて、参道で売り出したことがきっかけになったそうです。

(「ハツ橋」のもう一つの説は、故事「三河国・ハツ橋」です。母親が、おぼれて亡くなってしまった子ども  
くよう  
の供養のために、川に八つの橋を架けたという伝承を広めるために名付けられたというお話です。)





ぼくの中学生の兄が、<sup>そうきよく</sup>箏曲「<sup>しらべ</sup>六段の調」を音楽の授業で学習したと言うので、教科書を見せてもらいました。曲も聴いてみたところ、お正月に親しまれている有名な曲でした。


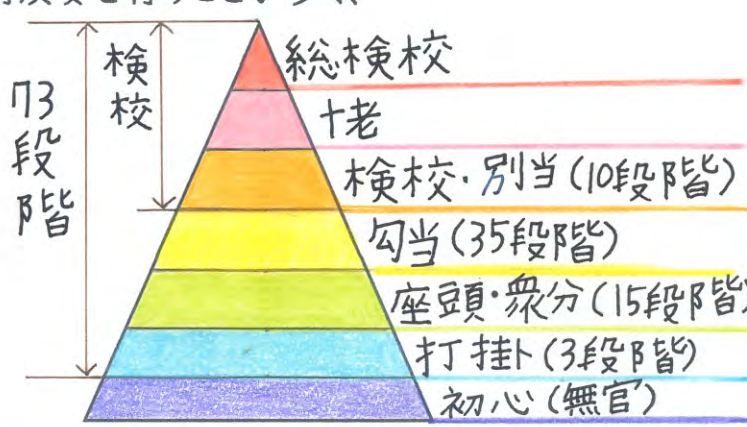
また、八橋検校だけではなく、生田流箏曲の始祖「生田検校」、山田流箏曲の始祖「山田検校」など、箏曲の世界には「検校」という名前の方がたくさんいることが分かりました。

**「検校」とは?**

読み方：けんぎょう

言葉の由来：検(あらた)め、校(かん)がえる。

中世・近世における  
盲官(盲人の役職)の  
最高位を表します!!

<p>平安時代</p>	<p>仁明天皇の第四皇子である人康親王<sup>さねやす</sup>は若くして失明しました。出家した際、盲人を集めて琵琶や管絃、詩歌を教えていました。人康親王<sup>さねやす</sup>の死後、側に仕えていた盲人に検校と勾当<sup>こうとう</sup>の二官が与えられたことが、盲官の始まりとされています。</p>	
<p>鎌倉時代</p>	<p>『平家物語』が流行。多くの場合、盲人によって琵琶の演奏とともに「平曲」として語られました。</p>	
<p>室町時代</p>	<p>明石覚一<sup>あかしかくいち</sup>は、播磨(今の兵庫県)の僧でしたが、突然失明しました。琵琶法師となり、『平家物語』の元となる「覚一本」をまとめました。天皇・上皇・親王らのための御前演奏を行うことが多く、按摩<sup>あんま</sup>や鍼灸<sup>しんきゅう</sup>の達人でもあったと伝えられています。足利氏一門であることから幕府の庇護を受け、男性盲人の自治的互助組織である「当道座」を設立しました。</p>	
<p>江戸時代</p>	<p>「当道座」は、盲人団体として幕府の公認と保護を受けるようになりました。この頃には、「平曲」は次第に衰え、演奏家・作曲家や、鍼灸・按摩が「当道座」の主な職業となりました。</p>	



## ② 杉山和一(杉山検校) … 鍼灸師



慶長15(1610)年～元禄7(1694)年

伊勢国(今の三重県津市)出身

幼い頃に伝染病により失明して、医術の道に進み、  
鍼の施術法の一つである管鍼法を創始しました。

鍼・按摩技術の取得、教育を行う、世界初の視覚障がい者  
教育施設「杉山流鍼治導引稽古所」を開設しました。

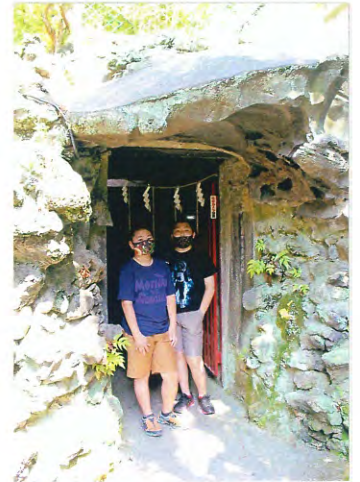
「江島杉山神社」(東京都墨田区)



鳥居・本殿の前



世界に一つの点字石碑



「岩屋」を模した洞窟

「鍼灸あん摩博物館」(「杉山和一記念館」内)



音筆ガイド(音声と点字)



治療に使われた鍼



江戸時代の経穴人形  
突起している部分  
が経穴(ツボ)。  
触って場所を  
覚えたそうです。

神社をお参りし、博物館を見学して気になったことがありました。  
神社の名前に「江島」とあること、本堂に江ノ島の弁財天をお祀りしていること、境内に江ノ島の岩屋を模した洞窟があることから、杉山和一と江ノ島には深い関係があるのではないかと考えました。そこで、実際に江ノ島に行って調べてきました。



えのしま  
「江島神社」(神奈川県藤沢市)



杉山和一総検校像や石碑、  
お墓、道標がありました。

和一がつまづいた福石

和一が18歳のとき、江戸で鍼術の修行をしました。しかし、物覚えが悪く手先が不器用だったため破門されてしまいます。そこで、芸能の神様として有名な弁財天に願掛けをするため、江ノ島の岩屋にこもって7日間の断食修行を行います。8日目に満願の日を迎えて岩屋から出た和一は、大きな石につまづいて倒れてしまいました。そこでチクリと刺さるものがあり、手に取ってみると筒状になった椎の葉に松葉が包まれていました。そこで「**かんしん**管鍼法」を思いつき、再び修行をして開業し、鍼の名人として有名になりました。和一がつまづいた石は「福石」と呼ばれ、今も「江島神社」の境内に残されています。



修行した「岩屋(洞窟)」



五百羅漢(埼玉県川越市「喜多院」)

「喜多院」にある  
江戸時代に作られた  
五百羅漢(仏様の  
500人の弟子)の中に  
あんま  
按摩をする羅漢が!!

五代将軍徳川綱吉は、和一を「**ふ、ちけんぎょう**扶持検校」として自身の治療にあたらせました。そして、難病が回復した際に、綱吉公が「何か欲しい物はないか」と問いかけたところ、和一は「**ただ一つ目が欲しゅうございます**」と答えました。そこで、本所**一ツ目**に屋敷を与えました。さらに、老いてもなお江ノ島へのお参りを続ける和一を心配して、江ノ島弁財天を祀る「本所**一ツ目**弁天社」(今の「江島杉山神社」)も建てられました。

綱吉公は犬公方として有名ですが、社会的弱者に目を向け、福祉政策に力を入れました。視覚障害者の特定分野の職業独占を認め、経済的な自立を支援したのです。



はなわ ほ き いち  
 ③ 塙保己一 … 国学者



えんきょう ぶんせい  
 延享3(1746)年~文政4(1821)年  
 武蔵国(今の埼玉県本庄市)出身  
 7歳で失明し、15歳で雨富<sup>あめとみけんぎょう</sup>校の弟子になりました。  
 国学の道に進み、『群書類従』<sup>ぐんしょるいじゅう</sup>の編さんを決意し、  
 40年以上かけて666冊を完成させました。  
 「和学講談所」を設立し、国学に大きく貢献しました。

(画像:「塙保己一記念館」HP)

「塙保己一記念館」(埼玉県本庄市)



←『群書類従』は、今でいう百科事典のようなもので、版木は縦20字、横20行の400字詰めで作られています。今使われている原稿用紙のもとになりました。中央にはマス目のない1行があり、折り目の部分にあたります。

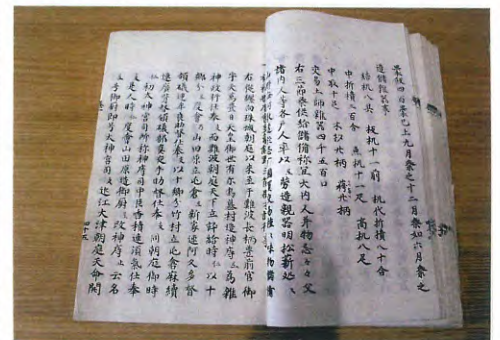
『群書類従』  
 530巻666冊!!



版木レプリカ



一文字ずつ丁寧に彫られています



和綴じ本



塙保己一旧宅



塙保己一の墓

↑昔の本は、1ページごとに筆で文字を書いたり、版木ですったりした1枚を二つ折りにして、端を糸でとじました。これを和綴じ本といます。



## 『群書類従』とは？

保己一は、人々のためになり、後の世に残ることをしようと、叢書（多くの書物を集大成したもの）を作ろうを決意します。そして、40年以上かけて、日本の古書（歴史・文化・文学など）を25部門に分類して、666冊にまとめたものが、『群書類従』です。

当時の日本では、書物はとても貴重なものでしたが、昔書かれた大事な本がなくなったり、見つからなかったりすることもありました。本は一冊ずつ手書きで書き写していたので、古い本の中には一冊しかなかったり、簡単には見られないものがありました。そのような本を全国から探し出し、間違いを訂正して、探しやすいように整理して、“世のため後のため”役に立つようにしようと思ったのです。

### 『群書類従』ができるまで

- ①筆写…原本を筆写する。
- ②校訂…他の本と比べて校正する。
- ③清書…出版するために清書する。
- ④版木…印刷するために版木に彫る。
- ⑤摺り…版木から1枚ずつ紙に摺る。
- ⑥製本…摺りあがったものを製本する。

### 「塙保己一史料館」（東京都渋谷区）



### 『群書類従』の版木倉庫

すべての版木が保管されて、現在も版木を使って刷ることができます。

史料館には約20,000枚の版木が保管されています。版木には奈良県吉野の桜の木が使われました。材質が良く、木目が細かく、字をきれいに彫ることができるからです。ただ、版木を彫るときは左右反転した字を彫らなければならない、とても大変な作業でした。

### なぜ、わざわざ版木に字を彫ったのか？

理由① それまでの本は和紙に筆で一文字一文字書き写していました。しかし、版木に彫ると、書き写す必要がなく、版画のように何枚も作ることができるからです。

理由② 版木にして残しておけば、いつでも摺ることができるからです。

➡️耐久性に優れた版木を使い、一枚一枚手刷りで印刷することにしました。なんと今でも、当時の版木を使って『群書類従』を作ることができます！実際に、「竹取物語」を刷ったものを見ました。変体仮名（昔の文字）で書かれていますが、筆で書いた字のようにきれいに彫られていることが分かります。資料④（実物大）



## 保己一の人柄が分かるエピソード

### ① 集中力と記憶力がすごい!!

江戸の町で、学問を志す盲目の少年のことが話題になり、本を読んでくれる人が出てきました。そして、読んでくれた本の内容を1回で覚えてしまう記憶力の良さも人々に伝わっていきました。ある夏の日、保己一は手をひもでしばって話を聞いていました。人に本を読んでもらっているときに蚊がくると、つい手で払ってしまうため、一字も聞きもらさないようしばっているということでした。保己一は耳で聞くことで学問が身に付くため、一生懸命に聞いて覚える保己一のために、江戸の人々は本を読むボランティアを率先して引き受けたのです。

### ② 自分には厳しい反面、人にはおおらか。

保己一が設立した「和学講談所」には、多くの門人が集まり、歴史や法律の勉強が行われていました。ある夏の夜、保己一が「源氏物語」の講義をしているときに、吹き込んだ風で明かりが消えてしまいました。弟子たちがあわてていると、「明かりがなければ見えぬとは目あきというのは不自由なものだ」と大笑いしたそうです。

(画像:「塙保己一史料館」HP)



「旅立ちの朝」  
故郷から江戸に旅立つ15歳の保己一。  
(JR早稲田本庄駅前)



## 塙保己一とヘレン・ケラー

昭和12(1937)年、ヘレン・ケラーが来日したとき、この史料館(温故学会)を訪れました。その際、保己一のブロンズ像や愛用の机、版木に触れ、次のような言葉を残しています。

「私は母から、塙先生をお手本にしなさい、と言われて育ちました。今日、塙先生の御像に触れることができたことは、日本に来て最も有意義なことと思います。」

三重苦のヘレン・ケラーは有名ですが、そのヘレン・ケラーが尊敬していたのが塙保己一だったということを知り、とても驚きました。



ヘレン・ケラーが触った保己一像



## 奇跡の人 ヘレン・ケラー



1880年6月27日～1968年6月1日

アメリカ合衆国アラバマ州出身

1歳7カ月のとき原因不明の病気で目と耳が不自由になります。6歳とき家庭教師のサリバン先生に出会い、言葉の意味を知ります。見えない、聞こえない、話せないという三重苦を乗り越え、大学を卒業したヘレンは、「奇跡の人」「現代の聖女」ともたたえられています。

(写真:wikipedia)

ぼくの兄が小学生のときに、学校の図書室で本を借りてきて、「感動するから読んだ方がいいよ!」と薦めてくれたのが、ヘレン・ケラーの伝記でした。兄は、1年に1回はヘレン・ケラーの伝記を借りてきて、繰り返し読んでいました。そして、ぼくも読んで、一つ一つのエピソードに驚きました。

### 特に印象に残ったヘレン・ケラーのエピソード

#### ① 伝えたいのに伝えられない幼少期のかんしゃく

ヘレンが6歳のとき、伝えたいことがたくさんあるのに、手まねやしぐさだけではうまく伝えられず、かんしゃくを起こしていました。伝えたいのに伝えられないのは、とてももどかしいことなので、かんしゃくを起こすのも当然だと思います。ヘレンもヘレンの家族も伝える方法が分からず、どうすることもできないため大変だったと思いました。

#### ② ものに名前があると気付くきっかけになった「ウォーター」

サリバン先生はヘレンの持っているコップに冷たい水を注ぎ、「W=A=T=E=R(水)」と指文字で書きました。すると、ヘレンは水とコップの違いに気づき、ものにはすべて名前があることも分かるようになりました。一つの気づきがきっかけで、水が勢いよく流れていくように学びにつながっていったことに、気付く・知ることの大切さを改めて感じました。

#### ③ 家庭教師サリバン先生との二人三脚

ヘレン・ケラー自身が地道に努力したのはもちろんですが、ヘレンを支え続けたサリバン先生の根気強さにも驚きました。サリバン先生は一生をかけて、ヘレンの目となり、耳となりました。ヘレンとサリバン先生が二人三脚で人生を歩み、未来を切り開いていったところにとっても感動しました。



## ヘレン・ケラーの家庭教師 サリバン先生



(写真:『ヘレン・ケラー』ポプラ社)

1866年4月14日～1936年10月20日

アメリカ合衆国マサチューセッツ州出身

子どものころ、重い眼病にかかり、視力を失います。

8歳で母親を亡くし、9歳で弟と保護施設に送られますが、その弟が亡くなってしまいました。その後、盲学校に進学し、在学中に受けた手術で視力が回復しました。

21歳でヘレンの家庭教師となり、その後はヘレンと共に人生を歩みました。

(写真左:サリバン先生 右:ヘレン・ケラー)

### サリバン先生が使った「指文字」とは?

アルファベット式のアメリカの指文字で、指の折り方でアルファベットを示します。サリバン先生が盲学校時代に習い、ヘレンに言葉を教えるために使いました。

通常はその形を見て判読するのですが、ヘレンは目が見えなかったため、ヘレンの手のひらに自分の手を置いて、指文字を触らせることで伝えようとしていました。

昔は、寺院で声を出せない儀式のときに用いられましたが、現在は聾啞者の会話に使われます。(日本語の50音に対応した、日本式の指文字もあります。)

サリバン先生は、21歳で初めて就いた仕事がヘレンの家庭教師でした。ヘレンに常に寄り添い、ヘレンの可能性を引き伸ばした、とても素晴らしい先生です。サリバン先生自身は、家庭教師になるまで、貧しい家庭で育てて十分な治療を受けられなかったり、身近な人を亡くして天涯孤独の身となったり、保護施設に送られたりと、大変な人生を送りました。しかし、その後の人生をヘレンに捧げ、ヘレンと共に過ごしました。ヘレン・ケラーも、サリバン先生も、偉大だと思いました。

視覚障がいのあった八橋検校、杉山和一、塙保己一、ヘレン・ケラー、そして、ヘレンを支えたサリバン先生について調べましたが、本人のすさまじい努力と、周りの人の支えがあったからこそ、素晴らしい功績につながっていると実感しました。



# 第5点

## 盲導犬





## 盲導犬

目の不自由な人のパートナーとして、盲導犬がいます。ユーザー（飼い主）が安全に歩けるように、そして、安心して暮らせるように手助けをする大切な存在です。

### <盲導犬の歴史>

年	出来事
1914年	第一次世界大戦では、戦車や軽量のマシンガンといった新しい兵器が使われるようになり、それまでの戦争に比べて多数の犠牲者が出た。目を負傷し、視力を失った人も大勢いた。
1916年	ドイツで軍用犬を育てていたハインリッヒ・スターリン博士は、「犬の助けを借りれば生活しやすくなるはずだ」と考えつく。そして、世界初となる盲導犬訓練学校を設立した。
1919年	このころには、539頭の盲導犬がドイツの失明軍人とともに歩く。オルデンプルグの盲導犬訓練学校は、ドイツ国内の9カ所に施設を拡大、毎年およそ600頭の盲導犬を育成した。
1929年	アメリカのシーイング・アイ（現存する世界最古の盲導犬育成団体）が誕生する。
1938年	日本に初めて盲導犬が紹介される。盲導犬を連れて旅行中のアメリカ人青年ゴールドンが日本に立ち寄り、講演して回った。
1939年	ゴールドンと対談した相馬安雄の尽力によって、失明した軍人のために、ドイツから4頭のシェパードが連れて来られる。この4頭が日本で初めての盲導犬として活躍した。
1957年	国産第一号とされる盲導犬チャンピイが誕生する。
1967年	日本で初めて厚生省（今の厚生労働省）の認可を得た盲導犬協会として、財団法人日本盲導犬協会（今の公益財団法人日本盲導犬協会）が設立する。
1989年	約30カ国、約100の盲導犬育成団体が加盟する盲導犬の国際的な組織である国際盲導犬連盟（IGDF）の前身となる、国際盲導犬学校連盟が設立する。
現在	約850頭が、目の不自由な人たちのパートナーとして活躍している。



## 盲導犬がユーザーに教えてくれること

目の見えない・見えにくい人が、行きたいときに行きたい場所へ安全に出かけられるように、盲導犬は主に3つのことをユーザーに教えてくれます。

### ① 角があること。

角では必ず止まります。ユーザーが「ストレイト ゴー(まっすぐ進む)」「ライト ゴー(右に曲がる)」「レフト ゴー(左に曲がる)」と指示を出すと、指示された方向に進みます。  
→このことから分かるように、盲導犬がカーナビのように目的地まで案内してくれるわけではありません。ユーザーが目的地までの地図を頭の中に描き、盲導犬が教えてくれる角や段差に指示を出しながら、頭の中の地図と照らし合わせて目的地まで歩くのです。

### ② 段差があること。

横断歩道の手前で止まります。歩道と横断歩道の段差を見分けて、盲導犬の前足が歩道のふちの上にあることで、ユーザーも自分の足でふちのある場所を確かめることができます。階段や陸橋では、1段目に足をかけて止まり、ユーザーが確認したら進みます。  
→ぼくは、道の段差をなくしてバリアフリーにした方が良いのではないかと思っていました。車いすやベビーカー、シルバーカーを使用している人にとっては、少しでも段差がない方がスムーズに進めると思ったからです。しかし、目の不自由な人にとって、この段差は必要な段差なのです。

**\*2cmの段差**・・・道路に関する国のガイドラインで、歩道と横断歩道の段差は「2cm」と定められています。当事者の間で議論した結果、目の不自由な人が白杖で確認でき、盲導犬が見分けられる段差で、かつ、車いすで越えられる段差にするため、「2cm」の段差をつけることになりました。

### ③ 障害物があること。

歩いている最中に、放置自転車やお店の看板などの障害物があったら、ユーザーが障害物にぶつからないように歩きます。

→ぼくの自宅から最寄り駅までは、お店の看板がずらっと並んでいます。横に広がって歩いている人やスマホを見ながら自転車に乗っている人も多く、車もよく通ります。そのため、安心して歩ける街にした方が良いと感じました。

※盲導犬がハーネスを付けているときはお仕事中です。

ユーザーの方に許可なく盲導犬に触ったり、食べ物をあげたりしてはいけません。



## 盲導犬の里 富士ハーネス

令和5(2023)年7月23日、「盲導犬の里 富士ハーネス」に行きました。「盲導犬の一生をトータルにケア 総合的な盲導犬の情報発信地としての役割 そして、日本で唯一の常時見学可能な盲導犬訓練施設です」。

### 盲導犬ユーザーサポート体験

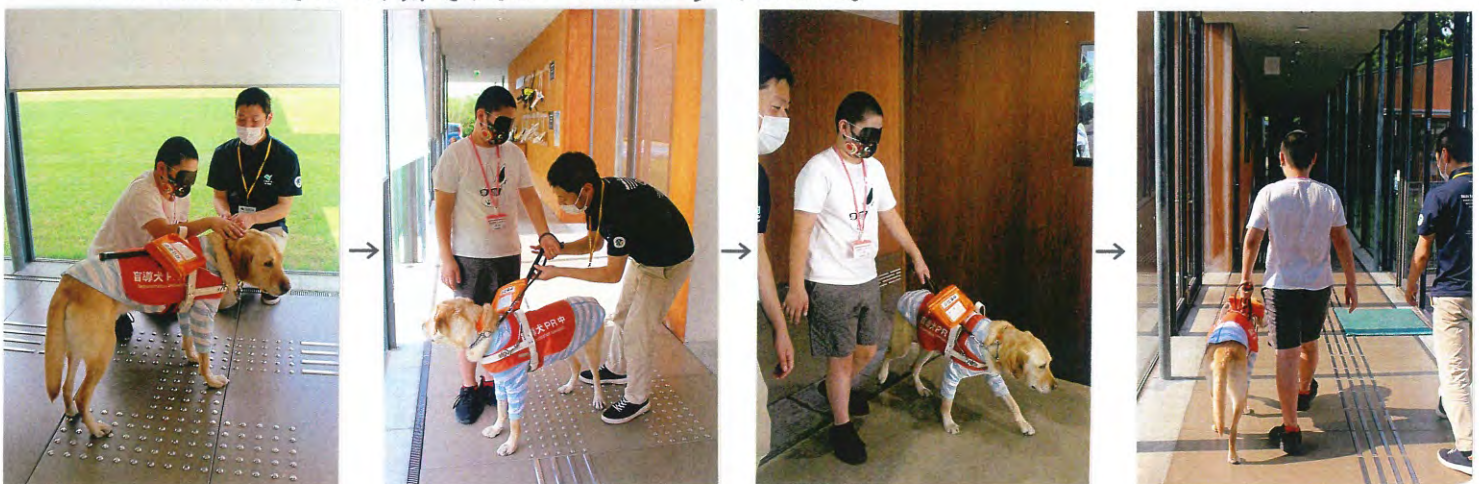
盲導犬ユーザーの方から、盲導犬や視覚障がい、普段の生活の様子について直接お話を伺いました。さらに、「街で見かけたとき」「道を聞かれたとき」「買い物で来店されたとき」などの場面を想定して、実際にコミュニケーションをとりながら、盲導犬ユーザーの方のサポートの方法を学びました。



役所で、エレベーターの場所を聞かれたとき、という設定で、ぼくが実際に案内しています。ちょっと緊張しました。

### 盲導犬ユーザー体験

アイマスクを付けて、盲導犬といっしょに歩きました。



①まず、PR 犬のウィニーと挨拶して信頼関係を築きます。初対面なので、なかなかこちらを見てくれませんでした。②ハーネスの持ち方を教わります。③実際に歩いていきますが、思ったより早く進んでいきます。角に来ると止まり、指示を出すとその通りに進みます。④慣れてくると、スムーズに歩けるようになりました。しっぽを振っているのが伝わってきました。



## 目の不自由な方の生活を体験

富士ハーネスでは、その他にもいろいろな体験をしました。



①アイマスクを付けた状態で、自動販売機に行き、ジュースを買います。自分の欲しい飲み物のボタン、お金を入れるところ、お釣りの出るところ、飲み物を取り出すところを、手探りで探しました。どうしても分からない場合だけ、言葉で教えてもらいました。②買ったジュースを開けて、コップに注ぎ、飲みます。こぼさないように、飲み口とコップの位置を慎重に確認しました。③左右バラバラになった靴下をペアにします。形や素材の違いで分かるものもありますが、形・素材が同じで色違いのものは分かりませんでした。



④カメラに映ったものを音声で読み上げる視覚障がい者向けのアプリ「Seeing AI」を使っています。⑤白杖はコンパクトに折りたたむことができます。点字ブロックの上を、白杖で地面を確認しながら歩くのですが、それでも周りが見えないのは不安でした。



自宅で、アイマスクを付けて夕食を食べることに挑戦。食事の配置は、時計の配置で教えてもらいました。しかし、この後、牛乳をこぼして大変なことに…。



# 第6点

## バリアフリー





# バリアフリー

## 「バリアフリー」とは？

**バリア**・・・barrier 障壁、障害      **フリー**・・・free なくす、自由にする  
障がいのある人や高齢者などが、日常生活で感じる不便さや困難といった障壁(バリア)を取り除くことです。

社会の中には、大きく4つのバリアがあります。

- ① 物理的なバリア・・・道路、鉄道、バス、建物を利用するときにある出入り口の段差や、届かない高さにあるスイッチなど、移動や作業を困難にするもの。
- ② 制度的なバリア・・・制度や規則によって、障がいを理由に入学を断られる、国家資格が取れないなど、社会に参加する機会を奪われること。
- ③ 情報・文化面のバリア・・・字幕が付いていない、音声案内がない、手話通訳がないなど、必要な情報が得られなかったり、文化的な活動の機会が得られなかったりするもの。
- ④ 意識上のバリア・・・障がいがあることを「かわいそう」だと思ふ、偏見の目で見ると、特別扱いをする、無関心など、自分と違うので受け入れないと思ふこと。

## 身近にあるバリアフリーを探してみよう

点字ブロックは、正式には「視覚障害者誘導用ブロック」といい、道路や公共機関など、多くの人が行き来するところに設置されています。(日本で発明されました!)最近、点字ブロックに関するニュースが二つありました。**資料⑤**

また、駅のホームでは車いすを使用している人が乗車しやすいよう、ホームと列車のすき間を狭くしているところがあり、複合施設では段差を上れるようスロープがありました。

\*駅の取り組みの一つとして、「エキマトペ」の実証実験も行われました。**資料⑥**



サンシャインシティ



## 「ユニバーサルデザイン」とは？

年齢や性別、文化の違い、障がいの有無などに関わらず、誰でも使いやすいように考えられた製品や建物などのデザインのことで、「Universal Design」の頭文字を取って、UDと表すこともあります。

1980年代にアメリカの建築家で工業デザイナーのロナルド・メイスが提唱しました。

日本では、1990年代からバリアフリーに関する法律が定められ、平成18(2006)年に、国の基本方針を示した「バリアフリー法」が定められました。また、東京オリンピック・パラリンピックをきっかけに、「ユニバーサルデザイン2020行動計画」を発表しました。

## 心のバリアフリー

ぼくたちの心の中にあるバリアをなくすことを「心のバリアフリー」といいます。さまざまな特性を持った人が社会でいっしょに暮らしていることを理解し、相手の気持ちになって考え、みんなで支え合っていくことが大切です。ポイントは次の3つです。

- ① 障がいのある人のバリアは個人にあるのではなく、社会の中にあることを理解し、心のバリアを取り除くのは社会の中の一人一人の責任であること。
- ② 障がいのある人(と、その家族)に対して、障がいを理由とした差別をせず、一人一人異なる配慮を十分に行うこと。
- ③ 自分とは異なる技能や要求を持つ多様な人々とコミュニケーションをとり、すべての人がかかえる困難や痛みを想像し、共感する力を育てること。

日本点字図書館や東京都人権プラザのワークショップなどで、障がいを持った当事者の方や、障がい者に関わる仕事をしている方からお話をうかがう機会が何度もあったのですが、その中でも印象に残っているお話があります。普段、目の見えない・見えにくい方を介助している方のお話なのですが、「利用者さんの中には、障がいがあることに引け目を感じていたり、恥ずかしいと思っていたりする人もいます。出かけるときは白杖を持ち歩いた方が、周りの人に知らせることができるので良いのだけれど、近所の人に知られたくないために白杖を持ちたがらない。」ということで、そのような方が少なくないのだそうです。

社会にはさまざまなバリアがありますが、障がいを持った方が引け目を感じることはないように、ぼくたちはまず、無関心や差別、偏見をなくさなければいけません。その上で、いろいろな人と交流したり、困っている人を見かけたら声をかけたりしていくことが大切だと思いました。いくつもあるバリアの中で、今すぐ取り除けるのは心のバリアです。



## パラアスリート講師から学ぶ「あすチャレ！」

ぼくが通っている小学校では、パラリンピックの選手が来て、出場している競技についてお話をしてくださる機会がありました。しかし、ぼくはもともと運動神経が悪くてスポーツが苦手なので、オリンピックやパラリンピックはテレビのニュースで見るくらいで、あまり知りませんでした。しかし、今回、パラアスリートの方から直接パラスポーツやバリアフリーについて学べる「あすチャレ！」というイベントがあることを知りました。「あすチャレ！」とは、「あすへのチャレンジ！」の略です。ぼくも勇気を出してチャレンジしてきました。



令和5(2023)年8月8日、お台場にある「日本財団パラアリーナ」に行きました。パラアリーナは、パラアスリートの練習環境を改善するために建設されました。そのため、施設はユニバーサルデザインを取り入れるなど、使いやすさが追求されています。

### 体験① パラスポーツ：車いすバスケットボール

下肢に障害のある選手が、専用の車いすに乗ってプレーします。使用するコート、リングの高さ、ボールは一般的なバスケットボールと同じです。違うのは、「ダブルドリブル」がない点です。ボールをひざの上に置いて、車いすの2回まわして進むことができます。

<競技用の車いす> 一般的な車いすとは違い、競技のために改良されています！

- ・タイヤがハの字になっていて、回転性能が高まり、クイックやターンなどが可能。
- ・シートのベルトで、身体が安定するようにしっかり固定。
- ・足は手前に置いて、車いす同士がぶつかったときに、選手の身体を保護。
- ・リアキャスターが、車いすの転倒を防止。



男子車いすバスケットボール元日本代表の神保さんに教えていただきました。

初めてでも車いすをスムーズに動かせて、ゴールも決められて、すごく楽しかったです!!



## 体験② パラスポーツ：ゴールボール

視覚障がいのある選手が、1チーム3人で競うチームスポーツ。アイシェード（目隠し）を装着した2チームが、鈴の入ったボール（バスケットボールくらいの大きさ）を互いに投げ合い、相手ゴールに入れて得点を競います。

※プレー中、選手が音に集中できるよう、「QUIET PLEASE」（静かにしてください）。



専用のボール（写真：

日本ゴールボール協会HP）

北京パラリンピック女子ゴールボール日本代表の高田さんに

教えていただきました。見えない状態で重たいボールを投げるのは難しかったです。

## 体験③ パラスポーツ：陸上競技（レーサー）

陸上競技は、トラック、フィールド種目、マラソンが行われます。車いす、義足、視覚しょう害、知的障がいなど、さまざまな選手が参加します。

<競技用車いす「レーサー」> 片手で持ち上げられるくらい軽い！

- ・トラックレーサーは、車輪を少しだけ斜めに固定して、トラックのコーナーを走りやすくします。
- ・タイヤ（後輪）は、<sup>ばんじょう</sup>板状の円盤（ディスクホイール）で、素材は硬くて軽いカーボンです。
- ・選手はグローブを付けて、ハンドリムをたたいたり押したりして後輪を回します。



陸上競技（レーサー）の永尾さんに教えていただきました。夏季パラリンピックに7大会出場し、夏季大会出場回数は日本人最多!!パラ陸上界のレジェンド!!車輪を早く回すには、相当な腕の力が必要です。試合では、最高速度30km/時以上出す選手もいます。

パラスポーツを実際に体験してみて、運動が苦手なぼくでも、もっとやってみたいと思いました。中でも一番楽しかったのは、車いすバスケットボールです。車いすの乗り心地が良く、操作もしやすく、乗ったまま家に帰りたいくらいでした。



#### 体験④ 移動のバリアフリー：視覚障がいのある方の白杖・盲導犬

目が見えない・見えにくい方が使っている白杖ですが、白杖にもいろいろな種類があります。今回は、見えにくい方が使っている白杖「シンボルケーン」について教えてもらいました。白杖にもいくつか種類がありますが、次のような重要な役割があります。

- 白杖の役割 ・路面など、周囲の情報を入手する。
- ・人や物にぶつかるのを防ぎ、身の安全を確保する。
- ・視覚障がい者であることを周囲に知らせる。

白杖を持っている人や、誘導する人について一通り教えていただいた後で、実際にそれぞれの立場を体験してみることになりました。ぼくと兄でペアになり、視覚障がい者の立場と誘導する立場をそれぞれやってみました。誘導する人は、半歩先を歩きながら「段差があります」「左に曲がります」など、早めに伝えなければならないため、少し先を見ながら、ちょうど良く声をかける必要があり、気が抜けませんでした。逆に、誘導される方は、誘導する人がきちんと伝えてくれないととても不安になりました。分かりやすい言葉で、タイミングよく声をかけるためには、練習しないといけないと思いました。

#### 体験⑤ 移動のバリアフリー：<sup>かし</sup>下肢障がいのある方の車

足に障がいがある場合、車を運転できる？ できます！ 現在、足に障害があっても運転することができる福祉車両があります。右手でハンドルを操作し、左手でアクセル・ブレーキを操作することができるのです。

また、車の乗り降りは、腕の力を使って運転席に移動します。乗っていた車いすは、障がいによって車への積み込み方が変わります。上半身に力がある場合は、手で持ち上げて後ろの座席へ積み込みます。ただし、上半身に力が入りにくい場合は、運転席に座ったまま、車いすを電動収納できるボックスがあります。



自家用車に乗せていただきました。



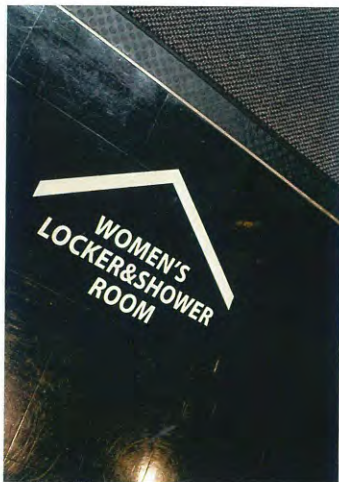
**このマークに注目！** 車の乗り降りは、ドアを完全に開けた状態で行うため、駐車場にはスペースが必要です。そのため、「車椅子マーク」のある駐車場には車をとめないでください。



## 体験⑥ 施設のバリアフリー：障がいのある方のロッカールーム

車いすに乗って、エントランスやトイレ、ロッカールームを移動しました。エントランスにあったゴミ箱は、足で踏んでふたが開くものではなく、ふたに手をかざすと開くもの。製氷機は、扉が手間に開くものではなく、横にスライドさせる引き戸タイプのもの。どちらも、車いすの方が使いやすい工夫がされているものでした。

ロッカールームでは、ロッカーが何種類もあることに驚きました。ロッカーの下にスペースがあることで、車いすの方でも使いやすくしたものがあったり、。視覚障がいのある人は鍵式の方が便利なので、キーは鍵式とダイヤル式があったりと、自分の持っている障がいによって使いやすい方を選べるようになっていました。



床の色を見てみてください。

### 床の色が黒いのはなぜ？

床が黒いのも、ユニバーサルデザインの一つです。壁面（黒色）と床面（白色）の色をはっきりと切り分けることによって、目の見えにくい人の空間認知をサポートしています。

また、ロッカールームやトイレなど、各部屋のサインは扉だけでなく、床面にもあります。車いすの人の視線は低いので、見上げなくて済むようにするためです。さらに、黒い床に白で文字が書いてあるのは、目の見えにくい人の視認性を高めるためです。

（ちなみに、体育館の床は一般的な床ですが、壁の色は黒色です。）

バリアフリーを実際に体験してみて、設備などのハード面と、声掛けなどのソフト面の両方が必要だと感じました。また、「楽しむ人は、強い。」というお話もうかがい、これからはいろいろなことを楽しみながらチャレンジしてみようと思いました。



# 第7点

# 対話





## 対話の森「ダイアログ・イン・ザ・ダーク」

1学期に、全盲の捜査官が活躍するテレビドラマを見ました。全盲の捜査官役の俳優さんが、指を鳴らして空間の広さを把握するという場面があり、ぼくも真似をしていました。そのドラマの最後に流れるエンドロールに「ダイアログ・イン・ザ・ダーク」という言葉を見つけ、何だろうと気になって調べてみました。すると、「対話の森」というイベントを開催していることが分かりました。

「真っ暗闇のエンターテインメント」が体験できる場所であり、  
「人と人とのかわり、つながりをどう育み、保っていくのかを体感」するところ。  
「世代。ハンディキャップ。文化。宗教。民族。世の中を分断しているたくさんのものを、  
出会いと対話によってつなぎ、ダイバーシティを体感するミュージアム。」

暗闇の中で何を感じるのか？「対話」とは何だろう？と、いくつも疑問が浮かんできました。でも、暗闇で何かするのはおもしろそうだなと思って、令和5(2023)年8月11日に、ダイアログ・ダイバーシティミュージアム「対話の森」に行ってみました。

季節に合わせて、今回のテーマは「夏祭り」でした。8人で1つのグループになるのですが、この8人は今日初めて会ったばかりの人たちです。そこに、視覚障がいのある1人の案内人さんが付いてくれました。一人一本ずつ白杖を持って、薄暗い部屋に入り、暗いところに目をならします。説明を聞きながら照明が落ちてきて、真っ暗になります。目をこらしても、目が慣れてきても全く何も見えない、純度100%の暗闇です。

### 暗闇の中で何を感じるのか？

暗闇の中は何も見えないので、一人では何もできません。しかし、周りに人がいるだけでこんなに安心感があるんだということに気付きました。普段、混み合った場所では、人と肩がちょっと触れただけで不快に感じたり、人とコミュニケーションをとることを面倒に感じたりすることもありました。しかし、暗闇の中では、人に触れていると安心するし、声を掛けてもらったり、声を掛けたときに答えてもらったりするととても安心しました。それと同時に、視覚に障がいがあって見えない・見えにくい人の立場に立つと、こんなに大変だし不安なんだということを実感しました。

\*暗闇で実際に体験した内容と、行動や気持ちの変化は資料⑦



## 「対話」とは何だろう？

「対話」に似た言葉に「会話」があります。違いを調べてみました。

語	意味	英語
対話	向かい合って対等の立場で話をする事。 また、その話。	Dialogue (ダイアログ)
会話	二人または数人の人が話をする事。 また、その話。	Conversation (カンバセーション)

同じような言葉のようですが、大きな違いは「向かい合って対等の立場で」という部分です。今回の8人のグループは、年齢も性別も立場もみんなバラバラでした。そのため、お互いの姿が見えているところでは、大学生くらいのお姉さんは優しそうだなとか、自分の親と同じくらいの年齢の大人の男性はちょっと話し掛けづらそうだなとか、見た目だけで判断していました。しかし、いざ暗闇に入ったら、見た目は一切関係ありません。みんなが「対等の立場で」声を掛け合い、助け合いながら体験が進んでいきました。ぼくもニックネームの「カステラくん」と何度も呼んでもらい、自分が分かったことを伝えると「ありがとう」と言ってもらい、自分でも役に立てることがあるんだと実感しました。

その中で、一番頼りになったのは、案内人をしてくれたスタッフの方でした。視覚に障がいがあって、普段から見えないことへの対処の方法を知っています。8人の名前をその場で覚えて、何度も名前を呼んでくれて、どこにいるか確認してくれるので、みんなも真似をして、同じようにすることができました。

今回の体験を通して、年齢や性別など、見た目ですら判断せずに対等の立場で話をすることができました。これからは視覚に頼らないで、いろいろな感覚を使っていきたいと思いました。



### もう一つの暗闇体験

以前、「信貴山朝護孫子寺」(奈良県生駒郡)に行ったときに、「戒壇めぐり」をしました。ここも真っ暗だったのですが、右手で壁を触りながら進むことができました。こちらも貴重な体験でした。





# 第8点

# 発信





## としま子ども会議

ぼくが住んでいる豊島区では、「豊島区子どもの権利に関する条例」に基づき、子どもたちが区政などについて話し合い、自分の意見を発表する場として「としま子ども会議」を開催しています。

### 「豊島区子どもの権利に関する条例」第20条第4項

区は、次代を担う子どもの意見を区政に反映するよう努め、子どもの意見を聴き、話し合う場として、としま子ども会議を開催しなければなりません。

(子どもにかかわる施設における子どもの参加及び参画)

今年度は、「障害のある方への理解促進」、「行きたくなる学校」、「『子どもの権利』について知ろう!広めよう!」、「放課後の過ごし方」の4つのチームがあり、ぼくは「障害のある方への理解促進」チームに入りました。

チームで話し合いをするにあたって、まず、豊島区役所の保健福祉部障害福祉課の方や障がいを持っている当事者の方から、豊島区の現状と課題についてのお話をうかがいました。

### <豊島区の障がい者の現状> アンケート調査結果

- ・毎日外出すると答えた身体障害者の割合は約半分です。コロナ禍の影響で一時的に減少しましたが、障害を持つ方も外出の頻度は高い傾向にあります。
- ・障害を持つ方が、外出時にけがをする割合は一般の人よりも高いです。コロナ禍で外出控えがあった時期でも、視覚障害者の約3割がけがをしています。
- ・近年は、自転車だけでなく、歩きスマホに危険を感じています。
- ・視覚障害者の、街のバリアフリーへの満足度は4割に満たない状態です。コロナ禍で、街中での音の環境の変化(換気をする店舗の増加による音漏れや歩行者の減少)も要因の一つのようです。



豊島区の障がい者の現状を知り、解決しなければならない課題がいくつもあることが分かりました。コロナ禍の影響も大きく、バリアフリー社会の実現に向けて、様々な取り組みを進めていく必要があると思いました。実際の取り組みを調べながら、ぼくが特に解決したい課題を探すことにしました。



## 豊島区の現在の取り組み

### ① 情報のバリアフリー化

障害者でも支障なく情報通信が利用できるようにするために、豊島区役所の障害福祉課の窓口では、情報機器を活用しています。



#### UDトーク

会話をリアルタイムで文字表示して、聴覚障害のある方を支援するためのアプリ。多言語に対応しています。(画像:Google Play)



#### コミューン

話す側がマイクに向かって話すと、はっきりした声で音が大きく聞こえるスピーカー。(写真:comuoon 公式サイト)

また、新たに、AIを活用した、民間の手話読み取り機器の実証実験に参加しています。その他、手話通訳派遣、要約筆記者派遣、失語症の人のコミュニケーション支援、点字広報・声の広報などの取り組みをしています。

### ② まちのバリアフリー化

繁華街があるため、歩道上の段差や障害物がけがの大きな要因となっています。

#### ハード面

音響式信号機、シグナルエイド(信号機に向かって操作すると音響・音声案内を受けられる小型送受信機)、エスコートゾーン(横断歩道を安全に渡るための道しるべ)など

#### ソフト面

放置自転車の撤去、環境浄化パトロール、ことばの道案内(パソコンや携帯電話等で聞くことができる道案内の情報を配信)

また、スマートフォンを活用した移動支援アプリ「shikAI(シカイ)」を導入しました。点字(警告)ブロックに設置したQRコードを読み取ると、現地から目的地まで音声で進む方向や距離を伝えるサービスです。

※ハード面とソフト面の  
両方を充実させることが  
重要です!!



(画像:豊島区公式ホームページ)



### ③ こころのバリアフリー化

「こころのバリアフリー」とは、様々な心身の特性や考え方を持つすべての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合うことです。そのためには、バリアを感じている人の身になって考えて行動を起こすことが大切です。豊島区が行ったアンケートによると、外出先で障害者の方が困っているのを見かけたときに、声をかけることができなかったという人が4人に1人いました。

このような3つのバリアフリー化をさらに進めていくためにはどうしたら良いか、同じチームの人と話し合ったり、区役所の職員の方、ファシリテーターの方に教えていただいたりしながら、ぼくは次のように考えをまとめました。

#### ぼくが解決したい豊島区の課題と提案

豊島区の課題は、「障害のある方はどんなことに困っているんだろう?」という、「知らない」、「分からない」状態をなくしていくことです。理由は、ぼく自身、障害者の方にどのように接したら良いか分からないときがあったからです。そこで、「体験授業」や「イベント」に積極的に参加し、障害者の方たちの生活を体験することを提案します。

このことについて、学校で配布されたタブレットを使って、発表のスライドを作成しました。読み原稿も作成し、持ち時間ピッタリで発表できるように、家で繰り返し練習しました。

\*「としま子ども会議」の日程は資料⑧、作成したスライドは資料⑨

#### 「としま子ども会議」を終えて

当日は、豊島区の高際区長<sup>たかざわ</sup>をはじめ、豊島区議会議長、子ども文教委員長、教育長、副区長、区役所の職員の方々、さらに学校の先生もいらっしゃる中での発表だったので、とても緊張しました。それでも、練習通りにしっかり発表することができました。自分の考えを限られた時間で分かりやすく伝えるために、簡潔な言葉で、写真を使って工夫したところも良かったと思います。無事に終わってほっとしました。





# 第9点 アート





## 『目の見えない白鳥さんとアートを見に行く』

ぼくは、『目の見えない白鳥さんとアートを見に行く』という本を読んで、大きく3つの気付きがありました。

### 気付き① 対話することが大切だ!

白鳥さんがアートを見るときに大事にしているのが、いっしょにいる人との対話です。目の前にある絵がどんな絵なのか、それを見てどう感じたのか、なぜそのように感じたのか、会話をしながら見ていくのです。白鳥さんに同行している人は、言葉で伝えるためにすみずみまで見ようと、感じたことを伝えようとします。映画の登場人物はみんな、アートと会話をいっしょに楽しんでいました。一つの作品に対して、じっくり時間をかけて見るところもいいなと思いました。

### 気付き② いろいろなやり方がある!

ぼくは、この本のタイトルだけを見たとき、目の見えない人がどうやってアートを見るんだろうと疑問に思いました。しかし、実際に読んでみると、見る方法がいくつもあることが分かりました。美術館では学芸員の方や友人といっしょに作品を見ます。さわれる作品のときには手でさわって感触を確かめながら見ます。白鳥さんはアートを心から楽しんでいたのです。しかも、白鳥さんは街を歩きながら写真も撮ります。目が見えない・見えにくいからこれはできないという思い込みが、ぼくたちの方にあるということも感じました。

### 気付き③ 心が楽しく豊かになることを目指そう!

誰もが生活しやすい社会を目指すのはもちろんです。しかし、物事が便利になっただけでは心は豊かになりません。ぼくは白鳥さんと同じように、普段から美術館や博物館によく行きます。展覧会に行くまでの期待・緊張、いろいろな作品との出会い・感動、いっしょに観た人との会話・感想など、好きなものを楽しむことが心が豊かになることだと思います。今回は、白鳥さんもぼくも好きなアートを、目の見える人も、見えない・見えにくい人もいっしょに楽しむためにはどうしたら良いか探してみようと思いました。

**\*映画も観に行きました!!**





## 「バリアフリー」から「ユニバーサル」へ

「目の見えない白鳥さんとアートを見に行く」の本を読んで、目の見えない人といっしょに楽しむアートについて考え始めていたころ、日本点字図書館で「バリアフリー能」のチラシを見つけました。ぼくは以前、能を見に行ったことがあったのですが、「バリアフリー」という点に興味を持って、令和5(2023)年3月21日、横浜能楽堂へ見に行きました。

横浜能楽堂では年に1回「バリアフリー能」開催しているそうで、今回は狂言「首引」と能「熊坂」でした。手話・字幕付きの解説や点字の解説文、能舞台触図が用意されており、さまざまな方がいっしょに能を楽しめるよう工夫されていました。

触ってもいいのは視覚障がい者だけ？

視覚障がい者の方向けに能面を触れるコーナーもあり、「バリア」が「フリー」になっていました。でも、車いすの方も、聴覚障がいのある方も、小さい子ども、みんなが能面を触れるようにした方が良いのではないかと思いました。

「バリアフリー」から「ユニバーサル」にするために

触ってもよい能面をたくさん準備するのは大変だし、みんなが触ると、視覚障がいのある方がじっくり触れなくなってしまう可能性もあります。そのため、視覚障がい者が必ず優先される列を作れば良いのではないかと思いました。

海外の例を参考にしてみよう！

ぼくは「シネマ・チュプキ・タバタ」で「手でふれてみる世界」というドキュメンタリーの映画を観ました。イタリアに暮らす、視覚に障がいを持つ夫婦が、美術作品に手で触れて鑑賞できる「オメロ触覚美術館」を創設しました。今では、子どもから大人まで、視覚に障がいのある人もない人も訪れる、すべての人に開かれた美術館になりました。



(写真:「手でふれてみる世界」チラシ)



(写真:横浜能楽堂のチラシ)

ぼくは、みんながいっしょに楽しむことができるように、「ユニバーサル」な美術館や博物館がさらに増えていくといいなと思いました。



## ユニバーサル・ミュージアム

### コロナ禍の「ユニバーサル・ミュージアム」

令和3(2021)年9月2日から11月30日まで、国立民族学博物館で「ユニバーサル・ミュージアム ーさわる!“触”の大博覧会」という特別展が開催されました。ちょうどコロナ禍で開催時期が一年延期されたのですが、感染対策をしながら行われました。



博物館の展示は、目で見えるものだと思っている人も多いと思います。ぼくも少し前までそう思っていました。しかし、それだと視覚に障がいのある方は博物館を楽しむことができません。そこで、生まれたのが「ユニバーサル・ミュージアム」です。

### ユニバーサル・ミュージアム = 誰もが楽しめる博物館

では、誰もが楽しめる博物館とはどのような博物館なのでしょうか。それは、「さわる」博物館です。コロナ禍では、さわるのが厳しく制限されました。しかし、制限されたからこそ、さわることの大切さも改めて見直される機会となったのです。

展覧会のスローガンは、「非接触社会から触発は生まれません。さわるとわかる わかるとわかる!」です。見える人も、見えない・見えにくい人も、さわることからわかることがあり、わかることからわかることがあるというところに、ぼくもはっとさせられました。

また、ユニバーサル・ミュージアムには六原則があります。六原則の詳細は資料⑩

- 1、誰がさわるのか
- 2、何をさわるのか
- 3、いつさわるのか
- 4、どこでさわるのか
- 5、なぜさわるのか
- 6、どうさわるのか

福祉(障がい者支援)よりもさらに先にある「共生」を目指しています。

そこでぼくは、今年の春休みから夏休みにかけて、美術館や博物館で展示されているものを見て楽しむだけでなく、目で楽しむ以外の方法があるかどうかを探すことにしました。訪れた美術館・博物館は資料⑪

その中でも、特に「ユニバーサル」な視点に立って、触ることができるか、触れない場合は同行者と話すことができるか、という2点に注目することにしました。その中で、「ユニバーサル」を感じた3つの美術館・博物館について取りあげたいと思います。

\*「ユニバーサルシアター」にも行ってきました。資料⑫



# 国立民族学博物館「世界をさわる」

春休みに、大阪の万博記念公園内にある「国立民族学博物館」に行きました。特別展「ユニバーサル・ミュージアム ーさわる!“触”の大博覧会」が開催された後も、継続して展示資料を見てさわって理解するコーナーが常設されています。(万博記念講演には、岡本太郎の「太陽の塔」があることで有名です。)

## 「タッチカービング(トキ)」

実際に触ってみました!

タッチカービングは、視覚障害者に野鳥の生態を知ってもらうために考案された彫刻。木の感触を味わいつつ、鳥の実際の大きさ、羽や足の細部が指で確認できる。「さわるトキ」は健常者(見常者)にも新鮮な感動を与えてくれる。」  
という解説が書かれていました。



\*「**健常者(見常者)**」という言葉に注目!

健常者	障害者
常に健康な者	健康ではない?

見常者	触常者
視覚に依拠して <small>い きよ</small>	触覚に依拠して <small>い きよ</small>
生活する人	生活する人

文化人類学者で、「国立民族学博物館」の教授である広瀬浩二郎さんは、健常者と障害者という呼び方を良い呼び方だと考えておらず、とらえ方を変える必要があると考えています。目が見える、見えないととらえると優劣があるように感じられてしまうため、使っている感覚器の違いが分かるように「見常者」、「触常者」と置き換えることを提案しています。廣瀬さん自身も「触常者」で、「さわる」ことの重要性を伝えて

います。「世界をさわる」常設展では、「見ないでさわる」コーナーもあります。手を入れた先に、どのような作品があるのかは、作品解説を読めば分かります。しかし、どのくらいの大きさのものがあるのか、どのような感触かまでは分かりません。そのため、穴に手を入れるときは少し緊張しました。資料⑬





# サントリー美術館 「まるごといちにち こどもびじゅつかん！」

令和5(2023)年8月15日、美術館の休館日が「こども専用びじゅつかん」になるという夏休み特別イベントがありました。ぼくは、「おしゃべり鑑賞タイム」というプログラムに参加しました！



↑ワークショップで、伊藤若冲の「菜蟲譜」のミニ巻物を作りました！

サントリー美術館では、「虫めぐる日本の人々」という展覧会が開催されていました。日本では古くから、草木や花などの自然とともに虫も美術作品の題材になってきました。その虫が描かれた作品を、みんなでお話ししながら見ることで、どんな発見があるのか、ということを楽しむプログラムです。

発見① おしゃべりしながら、みんなでいっしょに楽しめる！

美術館では「会話はお控えください」「静かに鑑賞してください」というアナウンスをよくされます。そのため、家族といっしょにいてもだまって見て、見終わってから感想を話し合うことがほとんどです。しかし、作品を見ながら、その場で感じたことを話せるので、いっしょに楽しんでいる感じがしました。

発見② 自分一人では気付けなかったことに気付ける！いろいろな見方があることを知る！

今回の展覧会は「虫」がテーマなので、作品のいろいろなところに虫が登場します。でも、小さかったり、すみずみまで探さないと見つけられなかったりもして、いっしょに探すのがおもしろかったです。そして、美術館の方にも教えていただきました。

- ・<sup>ちょう</sup>蝶・・・縁起が良い虫で、夫婦が仲良く過ごすシンボルでもあります。
- ・<sup>とんぼ</sup>蜻蛉・・・前にしか進まないから縁起が良い虫といわれてきました。
- ・<sup>くも</sup>蜘蛛・・・糸を出して巣を張ることが多く、良いことがある前触れと考えられてきました。

実は、ぼくは虫が苦手なのですが、今回の展覧会をきっかけに、虫に少しでも興味が出てきました。虫を「縁起が良い」と考える昔の人の感性はすごいと思いました。



## 国立西洋美術館 「にぎやかサタデー」

令和5年(2023)年8月26日、「みんなでアートを楽しもう! おしゃべりOK! にぎやかサタデー」というイベントがありました。国立西洋美術館は以前から、一般の方向けはもちろん、子ども・ファミリー向けのプログラムがあります。この日は、おしゃべりしながらアートを楽しめる日で、家族連れがたくさん来ていました。



<企画展> 「スペインのイメージ 版画を通じて写し伝わるすがた」が開催されていました。作品解説や問いかけが書かれた小冊子をもらい、それを見ながら作品を鑑賞していきます。ぼくはスペインというと、闘牛とフラメンコを思い浮かべましたが、それ以外のことはあまり知りませんでした。そのため、『ドン・キホーテ』がスペインの作品だったことや、パブロ・ピカソがスペイン人であること、ピカソの「泣く女」は反戦の意味が込められていることを初めて知りました。

<常設展> 「この作品を探しに行こう!」というテーマで、作品の一部分を切り取った写真が添付されたポストカードが一人一枚配布されました。その写真をもとに、絵画や彫刻を探しに行きます。ぼくがもらったポストカードは、髪の毛が蛇になったメデューサの彫刻でした。たくさんの作品を見ながらメデューサも探しますが、なかなか見つけれません。しかし、常設展の後半でようやくメデューサを見つけました。おかげで、恐ろしいはずのメデューサに親しみを感じてしまいました。



メデューサの彫刻を発見!!  
カミーユ・クローデルの  
「ベルセウスとゴルゴーン」



視覚に障がいのある方に向けて、鑑賞を補助するための触図の一部です。



「考える人」(縮小版)  
を手で「見」ています。



まとめ

おわりに



## まとめ

今回調べた結果、大きく3つのことが分かりました。

### ① 社会は以前より便利になっている。ただし、まだまだ十分ではない。

現在、街の中にも家の中にも、バリアフリーやユニバーサルデザインのものを見つけることができます。特に、点字や盲導犬の誕生により、視覚に障がいがあっても自分で文章を読んだり書いたりすることができ、一人でも安心して出掛けられるようになりました。また、障がいの有無に関わらず、誰もが分かりやすく使いやすいものが作られることで、生活が以前より便利になっていることが分かりました。しかし、まだまだ十分ではありません。今後より便利になるよう、より快適に過ごせるよう、改善していくことが必要です。

### ② バリアフリーで一番大事にしたいのは「心のバリアフリー」。

点字ブロックや音響式押しボタンが整備されるなど、バリアフリー化が進められています。しかし、物理的にバリアフリーが実現しても、スマホを見ながら歩いたり、自転車を路上駐車したり、困っている人がいても無視して通り過ぎる人がいたら、それが最も大きなバリアとなります。そのため、障がいに対する差別や偏見、無関心をなくし、見守ったり、一声かけたりすることが大切なのです。ぼくたち小学生でも、すぐにできることが「心のバリアフリー」です。その心を育むために、本を読んだり、実際に体験したりして、相手の立場になって考えたり行動したりすることを学ぶことが大切です。

### ③ 生活をより豊かにすることが、一人一人の「生きる力」につながる。

ぼくは『目の見えない白鳥さんとアートを見に行く』という本を読んで、生活が便利になることがゴールではないということを感じました。さらにその先にある、生活をより楽しく、より豊かにしていくことが、一人一人の「生きる力」につながっていくのではないかと感じたのです。本を読む、映画を観る、アートを観る、なんでも良いと思います。自分の興味があることについて学び、好きなことを自由に楽しみ、それを人と共有できるうれしさが、充実感や満足感になります。目の見えない人、見えにくい人、見える人、誰一人取り残さないで、みんなの心が豊かになる社会を目指していくことが大切です。

ぼくは、今後も継続して、心の豊かな社会を目指していきたいと思います。



## おわりに

今回の調べる学習は、“多くの人に発信したい”という強い気持ちで取り組みました。昨年の9月に点字に興味を持って調べていくうちに、大事なことから周りの人とも共有したい、もっと多くの人にも知ってほしいという気持ちに変化していきました。そして、調べる学習のテーマにすることに決めました。

調べていく中では、多くの気づきがありました。本を読んで分かったことでも、実際にやってみることで、新たに分かったこともたくさんありました。そのため、本を読んで知識を身に付けること、実際に体験して感じ取ることのどちらも大事にしました。途中で、50ページには収まらなくなってしまうことが分かり、本編ではなく資料にしたものもあるのですが、それでもまだ書き足りないことがあり、何を残して、何を省くか、とても悩みました。家族にも読んでもらい、ぼくが伝えたいところが分かりやすく書けているか確認してもらいました。Wordの使い方分からないところも教えてもらいながら進めました。

また、8月中旬に家族で青森旅行をしたのですが、宿泊したホテルで津軽三味線のライブがあり、次のようなお話をうかがいました。

津軽三味線は叩き奏法で、人によってアレンジを加えながら演奏します。その理由は、昔、視覚障がい者の角付かどづけ（民家の戸口で演奏し、金品を受け取る芸能）として津軽三味線が広まったからです。外で演奏するので、音を響かせるために叩くようになり、民家は戸数が少ないため、同じ家を何度訪ねてもアレンジを変えることで楽しんでもらえるようにするのです。また、演奏の最中にお客さんが拍手をする「かまし」は、津軽弁で「かきませる」という意味で、演奏している人も聞いている人もごちゃ混ぜになっていっしょに楽しもうという気持ちが込められています。

ぼくは、このお話を聞いて、社会には「かまし」が大事なんだと思いました。目の見えない人、見えにくい人、見える人がみんないっしょになって生活していくことが大切で、好きなことを自由に楽しめることも大切だと思いました。

そのためには、何より、相手の立場になって考え、寄り添い、思いやる気持ちが重要です。知らないことや分からないことがあったら、進んで調べて学んでいきたいと思います。

最後まで読んでくださり、ありがとうございました。



# 資料



ほくの なまえわ なかさき たいせい です。

ほーせー しょーがっこーに かよって います。

くらすわ 6ねん 2くみ です。

たんいんわ ぶくしま せんせー です。

すきなことわ まんがや あにめや әнеがを みること です。

ちゅーがっこーに いったら べんきょーも ぶがっも

どちらも がんばりたいー です。



## 資料② 問題の答え合わせ

問題 内容を正しく伝えるためには、どこで区切って読むと伝わる？

- ・大きなメガネをかけた男の人がいます。(メガネが大きいとき)  
→ 大きなメガネをかけた、男の人がいます。
- ・きれいな髪の高い女の人がいます。(髪の毛がキレイと言いたいとき)  
→ きれいな髪の高い、女の人がいます。
- ・大声で「おはよう」という男の子に「おはよう」と返した。  
(大声を出したのは男の子のとき)  
→ 大声で「おはよう」という男の子に、「おはよう」と返した。
- ・わたしの背の高さぐらいのリンゴがたくさんなっている木がある。  
(リンゴの木とわたしの背の高さが同じとき)  
→ わたしの背の高さぐらいのリンゴが、たくさんなっている木がある。
- ・エリカはイギリス生まれで同級生のミナミと仲がいい。  
(「イギリス生まれ」はミナミのとき)  
→ エリカは、イギリス生まれで同級生のミナミと仲がいい。



## 資料③

## 日本点字図書館のアクセス

地図は最も身近な図の一つです。地図も、言葉で説明するのは難しいです。

「日本点字図書館」のホームページには、最寄り駅である高田馬場駅からのアクセスが、次のように記載されています。

JR山手線で来館される場合は、ホーム新宿寄り一番端の階段を下りた戸山口が最短ルートです。改札から日点の玄関まで誘導ブロックがあります。

戸山口改札を出ると左へ曲がり、誘導ブロックに沿ってガード下の通路を進みます。ガードを抜けたら左へ曲がり、上り坂を30歩ほど進んで右へ曲がります。誘導ブロックに沿ってゆるやかな坂を上っていくと音響式信号のある交差点に出ます。

かどを右へ10歩ほど進むと、左に音響用のボタンがあります（コツコツと小さい音がします）。横断歩道を渡り、左へ10歩ほど進んで、最初のか道を右へ曲がります。誘導ブロックに沿って進むとチャイムの鳴っている四つ辻に出ます。

通りを渡って右へ曲がり、ガードレールのある歩道を80歩ほど進むと、左側でチャイムが聞こえてきますのでそこが正面玄関です。

視覚障がいのある方に向けて、波線部のようにくわしく説明されています。しかし、ぼくと母が初めて日本点字図書館に行くときに、この説明の通りに行こうとしたら、「○歩ほど進む」という説明に慣れていないため、迷ってしまいました。本来は駅から徒歩3分くらいで着けるところなのですが、10分くらいかかってしまいました。あとから地図を確認してみると、一度しか曲がる場所がない分かりやすい道でした。

このように、目が不自由でなければ、地図を目で見確認した方が早い場合もあるし、視覚障がいのある方は「○歩」という説明の方が分かりやすいという場合もあることが分かりました。

最近では、現在地から目的地まで音声ガイダンスを利用する方も多いそうです。



資料④ 『群書類従』の「竹取物語」

群書類従巻第三百九

檢校保己一集

物語部三

竹取物語

竹取物語の巻頭部分の書影。手書きの文字が縦書きで、行間は空いている。墨色は濃く、筆致は流暢である。

三四三

竹取物語の本文部分の書影。手書きの文字が縦書きで、行間は空いている。墨色は濃く、筆致は流暢である。



## 資料⑤

## 点字ブロックに関する2つのニュース

### ○渋谷スクランブルスクエア通路にアート「点字ブロック」 健常者への啓発

大規模な再開発工事が続く渋谷駅周辺では、エレベーターやエスカレーター、歩行者デッキの新設など歩行者移動をスムーズにするネットワークの整備が進む。一方、視覚障がい者の道となる「点字ブロック」に目を向けると、ブロックが剥がれていたり、途中で途切れていたり、看板などの障害物が動線を遮っているケースも少なくない。こうした健常者が意識しづらい課題解決に向け、実行委員会では、アートと点字ブロックの両方の機能を備える「STREET ART LINE」を開発し、健常者への啓発と、視覚障がい者が街を楽しむための道づくりを進めている。

(2023年4月14日付「シブヤ経済新聞」より)

→黄色い点字ブロックが多いのは、路面の色(灰色)との色の差が大きいため、目の見えにくい人が認識しやすいからです。



### ○バリアフリーか、景観か。美しい「カーブした点字ブロック」が視覚障害者にとって不親切な理由

人間支援工学を専門とする岡准教授によると、点字ブロックは一般的に、縦線が浮き上がる「誘導ブロック」をまっすぐつなぎあわせて道筋をつくることで、進行方向を示す。1135度以上の方向転換が必要な位置や、階段の手前などには、小さい丸印がいくつも浮かぶ「警告ブロック」を設置する。利用する視覚障害者は、片方の足で点字ブロック、もう一方の足で平坦な道を踏んだり、白杖で点字ブロックをたどったりするなどして、安全に歩けるといふ。では、今回の写真のような点字ブロックは、なぜ「推奨されない」のか。「点字ブロックがカーブしていると、利用者はどれくらい方向転換したかが掴めなくなり、方向感覚を失います。自分がどこに向かって歩いているかわからず、不安に陥ってしまうのです」曲線ではなく動線を直線でつなぎ、1箇所直角に曲がるのが望ましいという。

(2022年5月20日付「ハフポスト 日本版編集部」より)





「エキマトペ」とは？

「駅」+「オノマトペ」の造語。

耳が聞こえない人にも安心して電車に乗ってもらうために、「駅のアナウンスや電車の音といった環境音を、文字や手話、オノマトペとして視覚的に表現する装置」です。

AI(人工知能)が音を聞き分けて、駅の音を「見える化」しています。

毎日の鉄道利用が楽しくなるような体験を目指して、神奈川県の川崎市立聾学校に通う子どもたちと一緒にアイデアを考えたものです。2022年に、JR巣鴨駅、JR上野駅で実証実験が行われました。

\*オノマトペ・・・擬音語(ワンワン、ザーザーなど)・擬態語(ワクワク、キラキラなど)のことです。オノマトペを使うことでイメージしやすくなるため、日本語では多く使われています。

<「エキマトペ」の例>

- ・電車がホームに近づくとき → ヒューン
- ・電車が通過するとき → ビュウウウウウン
- ・電車が走っているときの音 → ガタンゴトンガタンゴトン
- ・扉が閉まる時 → ピンポンピンポン、プシュー
- ・発車ベルが鳴るとき → ルルルルルル
- ・その他、駅員のアナウンスも文字で表されます。

(「エキマトペ」[ekimatopeia.jp](http://ekimatopeia.jp) 参照)



## 資料⑦

## ダイアログ・イン・ザ・ダーク

	体験の内容	行動や気持ちの変化
①	部屋の中が純度100%の暗闇になったところで、自己紹介。 体験中にお互いを何と呼び合うか確認。	緊張50%、ワクワク50% 本当に真っ暗で、何も見えません。聞こえてくる声で、人がいる気配を感じます。見えない分、周りの音を聞こうとしました。 *ぼくのニックネームは「カステラ」 (「長崎カステラ」が由来)
②	場所を移動しよう! 右手で白杖を持って足元を確認。左手の甲を前に向けて顔の前まで上げ、前方を確認。 (木があって、地面が芝生なので、林の中を歩いているような感じ。) 到着したら、芝生に座ろう!	前に進むうとすると、誰かと体がぶつかったり、白杖同士が当たったりするので、初めは「ごめんなさい」「すみません」と謝っていました。しかし、途中から、「ぼくはカステラです。今となりにいるのは〇〇さんですか?」「いっしょに行きましょう」と、声を掛け合いながら進むようになりました。先を歩いている人が「左に壁があります」など、気付いたことを声に出して教えてくれるので、ぼくも後ろの人に伝えながら進みました。
③	誰からバスに乗るか、ジャンケンしよう!	8人でジャンケンをしましたが、誰が何を出したか見えないので、声でジャンケンしました。しかし、なかなか勝ち負けが決まりません。そこで、一人代表を決めて、その人に勝ったか負けたかで決めることになりました。いつもなら、「どうする?」という感じで、お互いの顔色をうかがうことが多いのですが、声に出して提案してくれる人がいると助かることが分かりました。
④	夏祭りの屋台に行くため、2人組のペアを作ろう! 家族や友人と来ている人は、	「名前順はどう?」と提案してくれた人がいて、スムーズに決まりました。この時点で、お互いに何度も名前を呼び合っているため、全員の名前を覚えま



	<p>別々のペアになろう! 花火の音を聞こう!</p>	<p>した。また、花火の音が聞こえたときは、もちろん花火が上がっている様子は見えないのですが、音に耳を澄まして、どんな花火が上がったか想像しました。</p>
<p>⑤</p>	<p>屋台を楽しもう! 輪投げ ヨーヨーすくい ジュース</p>	<p>どこにどの屋台があるか分からないので、お店の人に「こっちだよ!声の聞こえる方に来て!」と呼んでもらったり、ペアの人とはぐれないように、手を相手の肩や腕にふれながら移動しました。</p> <p>屋台は実際にお金を払って楽しめます。ポケットから1000円札を出して、お店の人に渡し、お釣りをもらいます。普段はあまり気にしていなかったけれど、大きい硬貨が500円玉、それより少し小さいのが100円玉だと確認します。お釣りを手のひらにギュッと握らせてもらえたのが安心しました。</p> <p>輪投げは、的になっているところを手でたたいて教えてもらい、そこをねらって投げました。</p> <p>ジュースのおまけに付いてきたお菓子は、さわった感じから「うまい棒」だと分かりました。ただし、何味かは食べてみないと分かりません。ちょっとドキドキしながら食べたら、「コーンポタージュ味」がして安心しました。</p>
<p>⑥</p>	<p>みんなで円を作って、 盆踊りをしよう!</p>	<p>8人で円を作るために、それぞれ前の人の肩に手を伸ばして、みんなそろっているかどうか確認しました。そのあと少し間隔をとってから、盆踊りをしました。そのあと、ようやくわずかに照明が付いたのですが、盆踊りをしていた場所がシンプルな長方形の部屋だったことが意外でした。すごく苦勞をしたつもりでいたのに、普通の空間だったのです。</p>



## 資料⑧ としま子ども会議

### 第1回 7月24日(月) 10:00~15:00(豊島区役所 5階 会議室)

まず、一人ずつ自己紹介をした後、各チームに分かれてプレゼンをし、やりたいことの具体例、どんな時にそう思ったかなどを考えました。

午後は、各チームに分かれての活動となり、チームテーマに関して、担当職員から詳しい説明を聞き、担当部署への訪問等を行いました。

→次回までに、やりたいことを具体的にしてくる。

### 第2回 7月28日(金) 10:00~15:00(豊島区役所 5階 会議室)

午前中は、ワークシートを用いながら自分がやりたいことについて整理し、一人一人進行役の方と1対1で話をして、内容を深めました。

午後は、一人ずつみんなの前で発表をして、自分の意見について、実現してほしいと思っている人は他にもいるか、参加者のみんなにアンケートを取りました。

→次回までに、どんなスライドにするか考えてくる。

### 第3回 8月1日(火) 10:00~15:00(豊島区役所 5階 会議室)

進行役の方や各チームのファシリテーターと話をしながら、スライド作成を進めました。

→次回までに、スライドを完成させてくる。

また、本番は自分の背中側にスライドが投影されるため、スライドを見ながら発表することはできないため、本番当日の「読み原稿」も作成してくる。

### 第4回 8月19日(土) 10:00~12:00(豊島区役所 8・9階 議場) リハーサル

議場で、本番と同じように最初から最後まで通して練習しました。

### 第5回 8月20日(日) 9:30~11:30(豊島区役所 8・9階 議場) 本番


豊島区長、豊島区議会議員、豊島区役所職員の方、学校の先生方、保護者の方等、多くの方の前で発表しました。



表紙

**障害者の方たちの  
生活を体験しよう！！**

障害者公平チーム：長崎大晴



障害者の方たちの生活を体験しよう！

障害者公平チーム

長崎大晴


1

ぼくが**解決**したい**豊島区**の課題

「どんな障害があるんだろう？」  
「障害者の方はどんなことに困っているんだろう？」

↓

『知らない』をなくしたい！！



ぼくが解決したい豊島区の課題は、「障害のある方はどんなことに困っているんだろう？」という、『知らない』『分からない』状態なくしていくことです。

2

自分が**解決**したいと感じた背景



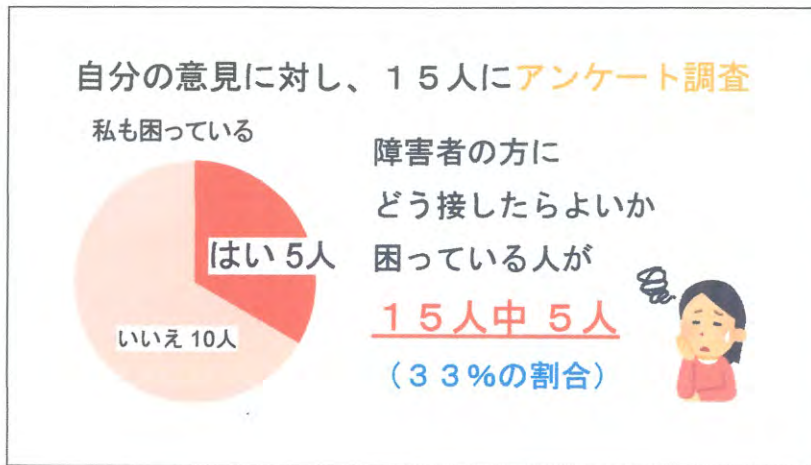
障害者の方への関わり方が難しい.....  
でも、『知る』ことができれば交流できる！！

解決したい理由は、ぼく自身、どのように接したら良いか分からないときがあったからです。

しかし、知ることで障害のある方とも交流できるようになりました。

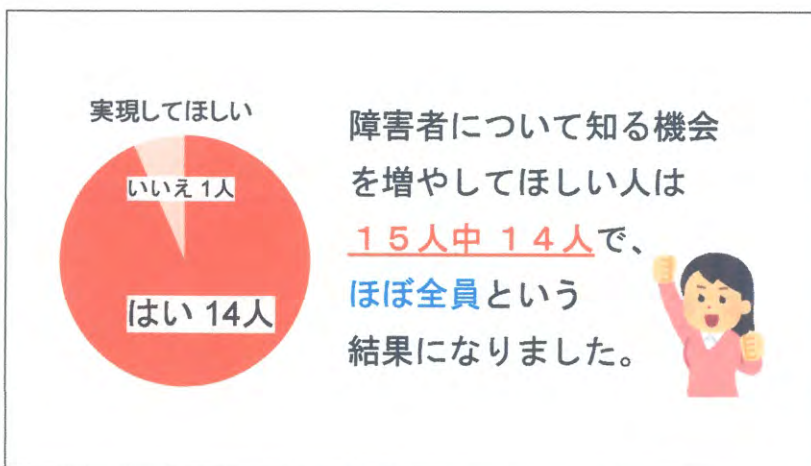


3



アンケートもとりました。  
ぼくと同じように困って  
いる人は15人中5人い  
ました。

4



また、障害者について理  
解する機会を増やした  
方が良いと考える人は  
15人中14人で、ほぼ  
全員でした。

5

具体的な提案と理由

「体験教室」や「イベント」に  
積極的に参加しよう！！

↓

「知る」ことへの近道は、  
実際にやってみること！！

では、具体的な提案で  
す。

ぼくは、「体験授業」や  
「イベント」に積極的に  
参加することが大切だ  
と考えます。

ここで、ぼくがこの夏休  
みにした体験を3つ紹  
介します。



6

体験① 盲導犬ユーザー体験



一つ目は、盲導犬の体験です。

静岡県にある「富士ハーネス」で、盲導犬ユーザーの方のサポートを学んだり、盲導犬といっしょに歩いたりしました。

7

体験② 点字体験



二つ目は、点字の体験です。

高田馬場にある「日本点字図書館」で、点字を読んだり、点字を打ったりしました。

8

体験③ 車いすユーザー体験



三つ目は、車いすの体験です。

お台場にある「パラアリーナ」で、車いすバスケットボールやレーサーを体験しました。



9

### 今後の関わり方

ぼくは**広報**として活動したいです。  
自分の体験をふまえて、  
**自分の感じたこと、考えたこと、  
分かったことなどを伝え、  
豊島区の課題について、  
みんなと一っしょに解決していきたい**からです。



今後、ぼくは広報として活動したいです。

これまでの体験をふまえて、自分の感じたこと、考えたこと、分かったことを伝え、みんなで課題を解決したいからです。

10

### 解決できた後の未来

障害者の方たちも、健常者の方たちも、  
**安全に、安心して、楽しく生活できる社会へ。**



**一人一人が生き生きと暮らせる、  
持続可能な未来都市、豊島区へ。**

課題が解決できたら、みんなが安全に、安心して、楽しく生活できる社会になると思います。そして、一人一人が生き生きと暮らせる豊島区になっていくと思います。以上です。ありがとうございました！



## &lt;「ユニバーサル・ミュージアム」の六原則&gt;

1、誰がさわるのか (Who)

障害の有無、国籍などに関係なく、老若男女、すべての人が“さわる”豊かさと奥深さを味わうことができる。

→単なる障害者サービス、弱者支援という一方向の福祉的発想を乗り越え、新たな「共生」の可能性を提示するのがユニバーサル・ミュージアムである。

2、何をさわるのか (what)

手で創られ、使われ、伝えられる「本物」のリアリティを体感できない時は、質感・機能・形状にこだわり、“さわる”ためのレプリカを制作・活用する。

→さわれない物（視覚情報）をさわられる物（触覚情報）に変換する創意工夫の積み重ねにより、日々発展し続けるのがユニバーサル・ミュージアムである。

3、いつさわるのか (when)

人間の皮膚感覚（広義の触覚）は 24 時間・365 日、休むことなく働いており、自己の内部と外部を結びつけている。

→展示資料に“さわる”行為を通じて、身体に眠る潜在能力、全身の感覚を呼び覚まし、万人の日常生活に刺激を与えるのがユニバーサル・ミュージアムである。

4、どこでさわるのか (where)

“さわる”研究と実践は、博物館のみならず、学校教育・まちづくり・観光などの他分野にも拡大・応用できる。

→両手を自由に動かす「能動性」、多様な感覚を動員する「身体性」、モノ・者との対話を楽しむ「双方向性」を促す場を拓くのがユニバーサル・ミュージアムである。



## 5、なぜさわるのか(why)

世の中には「さわらなければわからないこと」「さわると、より深く理解できる自然現象、事物の特徴」がある。

→視覚優位の現代社会にあって、サイエンス、アート、コミュニケーションの手法を駆使して、触文化の意義を明らかにするのがユニバーサル・ミュージアムである。

## 6、どうさわるのか(how)

「優しく、ゆっくり」、そして「大きく、小さく」「さわる」ことによって、人間の想像力・創造力が鍛えられる。

→「より多く、より速く」という近代的な価値観・常識を改変していくために、“さわる”マナーを育み、社会に発信するのがユニバーサル・ミュージアムである。



## 資料⑪

## 美術館・博物館・記念館など

今年の春休みから夏休みにかけて行った美術館・博物館・記念館などは、次の通りです。  
(行った順です。5・8・9には2回ずつ行っています。)

	名 前	場 所
1	国立民族学博物館	大阪府吹田市
2	信貴山朝護孫子寺「靈宝館」	奈良県生駒郡
3	平城宮いざない館	奈良県奈良市
4	平城宮跡資料館	奈良県奈良市
5	東京都美術館	東京都台東区
6	三菱一号館美術館	東京都千代田区
7	国立近代美術館	東京都千代田区
8	国立科学博物館	東京都台東区
9	東京国立博物館	東京都台東区
10	鍼灸あん摩博物館	東京都墨田区
11	塙保己一記念館	埼玉県本庄市
12	塙保己一史料館	東京都渋谷区
13	國學院大學博物館	東京都渋谷区
14	サントリー美術館	東京都港区
15	立佞武多の館	青森県五所川原市
16	太宰治記念館「斜陽館」	青森県五所川原市
17	棟方志功記念館	青森県青森市
18	三内丸山遺跡センター	青森県青森市
19	青森県立美術館	青森県青森市
20	国立西洋美術館	東京都台東区



## 資料⑫

## ユニバーサルシアター

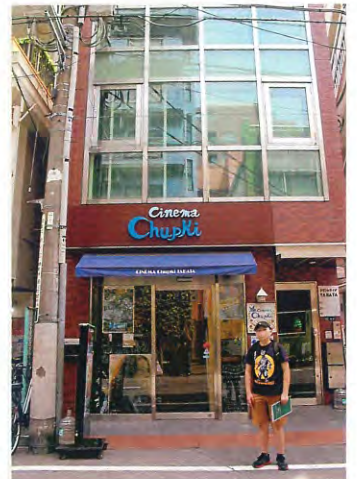
ぼくは映画が大好きで、月に1~2回は映画館に行きます。大きなスクリーンと大きな音は、家で観る映画とは全然違います。

そのような映画を、障がいのある人もいっしょに楽しめる映画館があることを知っていますか？

「ユニバーサルシアター」とは、「目の不自由な人も、耳の不自由な人も、車いすの人も、小さなお子様連れの人、だれもがいつでも安心して、一緒に映画を楽しむことができる、すべてのお客様を対象とした映画館」のことです。このような映画館が、東京都北区にあることを知り、実際に行ってきました。

JR山手線の田端駅から歩いて5分くらいのところにある、「CINEMA Chupki TABATA (シネマ・チュプキ・タバタ)」という小さな映画館なのですが、イヤホン音声ガイドや日本語字幕を付け、車いすスペースを確保するなど、とてもやさしい映画館です。

\*「チュプキ」は、アイヌ語で「自然界の光」という意味です。



やさしい① 音声ガイド 例: 「振り向くえみこ。笑顔になる。」

座席にイヤホンをつなげると、映画の情景や登場人物などの詳細な説明が流れ、目が不自由な人もいっしょに楽しめます。

やさしい② 日本語字幕 例: (足音) (えみこ) だれ?

映画にセリフや効果音の字幕が入っていて、耳が不自由な人もいっしょに楽しめます。難しいセリフも、字幕があることで分かりやすくなります。

やさしい③ 車いすも盲導犬も入場可能

車いすのまま映画を観られるスペースが3台分あり、入り口もトイレも段差がなく、スムーズに移動できます。また、盲導犬は訓練されているため、大きな音が出る映画館でも問題なく入ることができます。

やさしい④ 完全防音の親子鑑賞室もあります

赤ちゃん連れの人や、大勢の人がいる場所が苦手な人でも、人目を気にせずに観ることができます。





### 真鍮製人像「ミム」

脱ロウ法で作られた真鍮製の人形です。金属製品の制作や使用はかつては王をはじめとする地位の高い人々に限定されていました。今では一般にも普及し、土産物などにも使われています。



### 石彫像(ホッキョクグマ)

1950年代から作られるようになったイヌイット・アートのひとつに石彫刻があります。石像の表面はなめらかで、アザラシやホッキョクグマといった動物の他、家族や親子、狩猟や漁猟の様子が生き生きと表現されています。

その他にも、さわれる作品がいくつかあります。





# 参考文献



## \* 参考文献

出典	著者名 / 出版社
愛の点字図書館長 －全盲をのりこえて日本点字図書館を作った本間一夫	著者：池田澄子・田代三善 / 偕成社
おもしろくてやくにたつ子どもの伝記7 ヘレン・ケラー	砂田弘 / ポプラ社
心のバリアフリーを学ぶ 1 身近な場所編 2 おでかけ編	監修：高橋儀平 / 小学館
サリバン先生とヘレン ーふたりの奇跡の4か月ー	文：デボラ・ホプキンソン 絵：ラウル・コローン 訳：こだまともこ / 光村教育図書
調べる学習百科 ルイ・ブライユと点字をつくった人びと	監修：高橋昌巳 編集：こどもくらぶ / 岩崎書店
知ろう!学ぼう!障害のこと 3 視覚障害のある友だち	監修：久保山茂樹・星祐子 / 金の星社
手で読む心でさわるやさしい点字 ⑥点字を生み出した人びと 目の見えない人に光をともしたルイ・ブライユ	監修：日本点字委員会 / 国土社
伝記世界を変えた人々 8 ブライユ －目の見えない人が読み書きできる“点字”を 発明したフランス人ー	著者：ビバリー・バーチ 訳：乾侑美子 / 偕成社
点字はじめての一步 ①点字のれきし ルイ・ブライユと石川倉次、そして今 ②読む書く、きほんの「き」 ③点字とくらす	文：黒崎恵津子 絵：朝倉めぐみ / 汐文社
はたらく犬 盲導犬・聴導犬 安全をいつも確認する犬たち	監修：日本補助犬協会 / 学研
ふるさとお話の旅 ④東京 東京 江戸語り	監修：野村純一 編著：野村敬子 / 星の環会
ヘレン・ケラーのかぎりない夢 見る・聞く・話す・読む・書く・学ぶ夢に挑戦した生涯	文：ドリーン・ラパポート 絵：マット・タヴァレス 訳：もりうち すみこ / 国土社
みんなが過ごしやすい町へ ユニバーサルデザインとバリアフリー 1 容器・文房具・情報家電のくふう 2 道路・公共交通のくふう 3 建物・公共施設のくふう	監修：徳田克己 / 金の星社
よくわかる障がい者スポーツ －種目・ルールから支える人びとまで	監修：藤田紀昭 / PHP研究所
よくわかるユニバーサルデザイン －考え方から社会への広がりまで	監修：柏原士郎 / PHP研究所
もっと知ろう! 点字 点字の読み方から、歴史、最新技術まで	監修：日本点字図書館 / ポプラ社
ものがたり日本音楽史	著者：徳丸吉彦 / 岩波ジュニア新書
闇を照らす六つの星 日本点字の父 石川倉次	著者：小倉明 / 汐文社
6この点 点字を発明したルイ・ブライユのおはなし	文：ジェン・ブライアント 絵：ボリス・クリコフ 訳：日当陽子 / 岩崎書店



出典	著者名 / 出版社	
世界はさわらないとわからない 「ユニバーサル・ミュージアム」とは何か	広瀬浩二郎 / 平凡社新書	私物
目の見えない白鳥さんとアートを見にいく	川内有緒 / 集英社	
目の見えない人は世界をどう見ているのか	伊藤亜紗 / 光文社新書	
ユニバーサル・ミュージアム さわる!“触”の大博覧会	編集:国立民族学博物館 編者:広瀬浩二郎 / 小さな子社	
「良かったこと探し」から始めるアクセシブル社会 障害のある人の日常からヒントを探る	星川安之 / 小学館	

インターネット	URL
エキマトペ	<a href="http://ekimatopeia.jp">ekimatopeia.jp</a>
江島神社	<a href="http://enoshimajinja.or.jp/">http://enoshimajinja.or.jp/</a>
江島杉山神社	<a href="http://ejimasugiyama.tokyo/">http://ejimasugiyama.tokyo/</a>
国立西洋美術館	<a href="http://www.nmwa.go.jp">www.nmwa.go.jp</a>
国立民族学博物館	<a href="http://www.minpaku.ac.jp">www.minpaku.ac.jp</a>
サントリー美術館	<a href="http://www.suntory.co.jp">www.suntory.co.jp</a>
シネマ・チュプキ	<a href="http://chupki.jpn.org">chupki.jpn.org</a>
杉山検校遺徳顕彰会	<a href="http://sugiyamawaichi-kengyou.com">sugiyamawaichi-kengyou.com</a>
対話の森	<a href="http://taiwanomori.dialogue.or.jp">taiwanomori.dialogue.or.jp</a>
手でふれてみる世界	<a href="http://www.le-mani.com">www.le-mani.com</a>
テルミ 手で見る学習絵本	<a href="http://faje.or.jp">faje.or.jp</a>
東京都人権プラザ	<a href="http://www.tokyo-hrp.jp">www.tokyo-hrp.jp</a>
東京ヘレン・ケラー協会	<a href="http://thka.jp">thka.jp</a>
豊島区公式HP	<a href="http://www.city.toshima.lg.jp">www.city.toshima.lg.jp</a>
日本財団パラアリーナ	<a href="http://www.parasapo.tokyo">www.parasapo.tokyo</a>
日本児童教育振興財団	<a href="http://faje.or.jp">faje.or.jp</a>
日本点字委員会	<a href="http://www.braille.jp/">http://www.braille.jp/</a>
日本点字図書館	<a href="http://www.nittento.or.jp">www.nittento.or.jp</a>
日本パラスポーツ協会	<a href="http://www.parasports.or.jp">www.parasports.or.jp</a>
日本盲導犬協会	<a href="http://www.moudouken.net">www.moudouken.net</a>
塙保己一記念館	<a href="http://www.honjo-kanko.jp">www.honjo-kanko.jp</a>
塙保己一史料館	<a href="http://onkogakkai.com/">http://onkogakkai.com/</a>
光村図書	<a href="http://www.mitsumura-tosho.co.jp">www.mitsumura-tosho.co.jp</a>
目の見えない白鳥さん、アートを見にいく	<a href="http://shiratoriart.jp">shiratoriart.jp</a>

※参考文献は五十音順に記載しました。

※写真・画像は、記載のあるもの以外は、ぼくと母が撮影したものです。

以上